

No.	110-010	事務事業名	花いっぱい運動推進事業				所属部	総務部
	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり				所属課	総務課
	施策名	0 2	生活環境の向上				課長名	宗像 成昭
	基本事業名	0 2	地域美化活動の促進				所属G(係)	市民運動推進室
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進費	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
暮らしの中に花を育て、愛し、親しむことによって、優しい心を培いながら、美しい「花いっぱい」の霧島市をつくるため、花の苗の助成、花いっぱいコンクールの実施、市花の普及(花タバコの鉢植えの配布、学校への苗の配布)、花の育成講習会を行う。 花いっぱい運動を推進する団体として登録の上、公園、学校、市道、集落内の公共施設の周辺部に花を植え、管理までを住民に行ってもらっている。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 45 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) ・花の苗の助成 ・花いっぱいコンクールの実施 ・花の育成講習会の実施  21年度計画(21年度に計画している主な活動) 昨年度と同様。  対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 花いっぱい運動を推進する団体(自治公民館、老人クラブ、子ども会、企業等) 市内小・中学校  意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 公共の場(市道や公園、学校等)を花いっぱいの美しい状態に保つ活動を行う。  結果(どんな結果に結び付けるのか) 地域美化活動に取り組む。		<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 花の苗の助成本数</td> <td>本</td> </tr> <tr> <td>イ 花いっぱいコンクール参加団体数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>ウ 市花の苗、鉢植えの配布数</td> <td>本</td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 花いっぱい運動を推進する団体の数</td> <td>団体</td> </tr> <tr> <td>イ 市内小・中学校の数</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 花いっぱい活動により植栽された学校の数</td> <td>校</td> </tr> <tr> <td>イ 花いっぱい活動により植栽された公園の数</td> <td>園</td> </tr> <tr> <td>ウ 花いっぱい運動により植栽された市道の数</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 美化活動参加者数の割合(年に数回)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ 美化活動参加者数の割合(月に数回以上)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		名称	単位	ア 花の苗の助成本数	本	イ 花いっぱいコンクール参加団体数	団体	ウ 市花の苗、鉢植えの配布数	本	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 花いっぱい運動を推進する団体の数	団体	イ 市内小・中学校の数	校	ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 花いっぱい活動により植栽された学校の数	校	イ 花いっぱい活動により植栽された公園の数	園	ウ 花いっぱい運動により植栽された市道の数	箇所	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 美化活動参加者数の割合(年に数回)	%	イ 美化活動参加者数の割合(月に数回以上)	%	ウ	
名称	単位																																								
ア 花の苗の助成本数	本																																								
イ 花いっぱいコンクール参加団体数	団体																																								
ウ 市花の苗、鉢植えの配布数	本																																								
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 花いっぱい運動を推進する団体の数	団体																																								
イ 市内小・中学校の数	校																																								
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 花いっぱい活動により植栽された学校の数	校																																								
イ 花いっぱい活動により植栽された公園の数	園																																								
ウ 花いっぱい運動により植栽された市道の数	箇所																																								
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 美化活動参加者数の割合(年に数回)	%																																								
イ 美化活動参加者数の割合(月に数回以上)	%																																								
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	4,154	3,842	4,264	4,358	
	事業費計(A)	千円	4,154	3,842	4,264	4,358		
投入量	活動指標	ア 本	85,970	84,800	88,000	96,000		
		イ 団体	40	50	55	60		
		ウ 本	2,000	2,000	2,000	2,000		
	対象指標	ア 団体	200	200	200	210		
		イ 校	46	46	46	46		
		ウ						
	成果指標	ア 校	46	46	46	46		
		イ 園	20	30	33	35		
		ウ 箇所	20	25	30	32		
	上位成果指標	ア %	56.8	51.4	59.7	63.0		
		イ %	8.6	21.8	8.5	9.2		
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
市民が暮らしの中に花を育て、愛し、親しむ気運を醸成するため、花いっぱいコンクールを昭和45年度から実施している。また、平成8年度からは市花の普及、平成14年度から花の育成講習会、平成16年度からは花の苗助成を実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
花いっぱいコンクールの参加団体及び市道や公園等に花を植えるボランティア団体が増加している。また、活動の場が公園、市道などの公共施設へと拡大したことに伴い、その目的が市民個人の活動から公共の場を市民が市と協働して管理するという現在の目的へと変化してきた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
花の苗を助成するようになって多くの団体が、ボランティアで市道や公園に花を植えられるようになり、団体からは喜ばれている。	

事務事業名	花いっぱい運動推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？																						
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？																						
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 学校内は、学校が植栽を行っている。公園に関しては、一部ではあるが、市が管理者として植栽を実施しているところもある。	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																				
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			各地域で推進団体の数にばらつきがある。全市的な事業となるには、広報活動や推進団体の掘り起こし等が必要である。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 花いっぱい推進する団体は、子ども会、企業等へ参加を呼びかけることで増やしていきたい。																										

政策体系	No.	110-020	事務事業名	環境美化里親制度推進事業	所 属 部	総務部
	政策名	0 2	自然にやさしいまちづくり	所 属 課	総務課	
	施策名	0 2	生活環境の向上	課 長 名	宗像 成昭	
	基本事業名	0 2	地域美化活動の促進	所 属 G ( 係 )	市民運動推進室	
				電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
市道・公園・河川等で自発的に清掃や花の植栽などの環境美化を行う市民団体等を「環境美化里親」として認定し、市民と行政が協力して快適で美しいまちづくりを推進するモデル事業を実施し、市全体に広げていく。 市道・公園・河川等の里親として認定した団体に対し、看板設置費用や消耗品代を委託経費として支給している。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 環境美化里親数	団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	昨年度と同様。	イ 看板の設置数	箇所
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	ボランティアを推進する市民団体	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	公共の場(市道や公園等)を環境美化里親制度を活用し、美しい状態に保つ活動を行う。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	地域美化活動に取り組む。	名称	単位
		ア ボランティアを推進する市民団体	団体
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 環境美化里親制度により美化された公園の数	箇所
		イ 環境美化里親制度により美化された市道の数	箇所
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 美化活動参加者の割合(年に数回)	%
		イ 美化活動参加者の割合(月に数回以上)	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	20	20	20	130		
		事業費計(A)	千円	20	20	20	130		
活動指標	ア	団体	1	3	3	5			
	イ	箇所	2	3	3	5			
	ウ								
対象指標	ア	団体	100	100	100	100			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	箇所	1	2	2	5			
	イ	箇所	0	0	0	5			
	ウ								
上位成果指標	ア	%	56.8	51.4	59.7	63.0			
	イ	%	8.6	21.8	8.5	9.2			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
天降川河川敷公園について、野口老人クラブに管理をお願いしていたが、面積が広く西側河川敷地は管理できないとの申し出があり苦慮していたところ、野口の市民より環境美化里親制度なら引き受けて良いとの申し出があり、モデル的に環境美化里親制度の導入を図り管理を委託したものであり、平成17年度から開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
地域内の公共の場の清掃を行う団体や花いっぱい運動を行うボランティア団体が増加している。また、市民と市が協働した美しいまちづくりについて、市民意識が向上してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
地域の特性を活かした美化活動を促進するためには、現在の支援内容では不十分であるという意見がボランティア団体からあった。また、環境美化里親の団体から、団体役員は高齢者が多く、申込書の記入が難しいとの声がある。	

事務事業名	環境美化里親制度推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	市道・公園・河川等で自発的に環境美化を行う市民団体を環境美化里親として認定し、市民と行政が協力して快適で美しいまちづくりを推進することにより、市道・公園・河川等の愛護意識が高まり、地域の特性を活かした美化活動が促進される。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市が管理すべき市道、公園や河川等の環境美化を行う市民団体を里親として認定し、その団体の力を活用し、地域の特性を活かした美化活動を促進することから、目的として妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	現在はモデル事業として限定して推進しているが、環境美化里親を希望する団体が増えれば望ましいところである。意図としては、多くの市民が集まる公共の場を美しく保つものとしており、妥当である。
効果 率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	制度を活用し公共の場を清掃する団体が増えることによって、成果を向上させることができる。現在はモデル事業として取り組んでおり、全市民的な活動となるには、市民の制度への理解や市道・公園等を管理する関係機関との調整が必要である。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平 性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	市道・公園・河川等を自発的に環境美化を行う市民団体が減少し、市道や公園の愛護意識が薄れ、美しい状態を保つことができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ しみん学習支援公社が管理委託している公園や網掛川清掃管理委託事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	上記については、公園や河川等を補助金や委託などを活用し管理しており、これらを環境美化里親制度で包括できる余地がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平 性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	市民と行政が協働して、市道・公園・河川等の美化活動を推進するためには、看板設置費用や消耗品代など、ある程度の市の負担が必要であり、削減の余地はない。
公平 性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	申請業務と委託経費の申請が主な業務である。モデル事業であるため件数が少ないので、現状ではほとんど業務時間がかかっていない。
公平 性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	現在はモデル事業として取り組んでいるが、公共の場で美化活動をしており、美化活動の恩恵は広く市民が受けるものである。また、公共の場の美化活動であり、受益者負担を求める必要はない。したがって、受益機会、費用負担とも公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	近年多くの自治体に取り組んできている事業である。本市ではモデル的に実施しており、地域の特性を活かした美化活動に必要なものと考えている。全市民的に取り組める制度と体制の整備が必要である。また、類似事業との統廃合や連携も検討する余地がある。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
<改革改善案> 市が行っている様々な事業との連携、災害保険について、必要経費の割合など、制度の改善を行う。																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 市内の市道、公園や河川等を環境美化里親制度により美化活動を推進することは、地域の特性を活かした美化活動を促進するため必要であり、市が行っている様々な事業との連携を図る必要があるが、全て把握されていない。また、災害保険や必要経費の割合など制度の充実が必要であり、この事業をどの様な形で促進するのか、関係部署と協議していく必要がある。																											

No.	110-030	事務事業名	地域のボランティア活動の推進事業				所属部	総務部		
							所属課	総務課		
政策体系	政策名	0	2	自然にやさしいまちづくり			課長名	宗像 成昭		
	施策名	0	2	生活環境の向上			所属G(係)	市民運動推進室		
	基本事業名	0	2	地域美化活動の促進			電話番号	45-5111		
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠			
	一般	0	2	0	1	0	1	10010	市民運動推進経費	なし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
全国老人クラブ連合会が設定した「社会奉仕の日」と青少年育成の日に合わせ、市民総ぐるみでボランティア活動を行う。具体的には、9月の第2土曜日を中心に、地区自治公民館を主体に老・壮・青のふれあいのもとに、地域の実情に応じて、清掃活動(地域内の道路・河川・公共施設・自治公民館・墓地・神社)や独居老人訪問などを実施してもらっている。 活動を行った自治公民館には、事業費の助成を行っている。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
						<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 61 年度 ~ )	
						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	参加地区自治公民館数
			公民館
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	参加人数
昨年度と同様		ウ	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
地区自治公民館及び市民		名称	
		単位	
		ア	地区自治公民館数
		イ	人口
		ウ	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
公共の場(市道や公園等)を清掃し、まちを美しい状態に保つ活動を行う。		名称	
		単位	
		ア	参加した地区自治公民館の割合
		イ	参加した市民の割合
		ウ	%
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
地域美化活動に取り組む。		名称	
		単位	
		ア	美化活動参加者の割合(年に数回)
		イ	美化活動参加者の割合(月に数回以上)
		ウ	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	410	650	600	900	
	事業費計(A)	千円	410	650	600	900		
活動指標		ア	41	65	60	70		
		イ	9,374	14,424	13,009	13,000		
		ウ						
対象指標		ア	90	90	90	90		
		イ	127,615	127,773	127,450	128,383		
		ウ						
成果指標		ア	45.56	72.22	66.67	77.78		
		イ	7.35	11.29	10.21	10.13		
		ウ						
上位成果指標		ア	56.8	51.4	59.7	63.0		
		イ	8.6	21.8	8.5	9.2		
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
全国老人クラブ連合会が設定した「社会奉仕の日」と青少年育成の日と合わせ市民総ぐるみでボランティア活動を行うため、昭和61年度から旧国分市で開始された。新市においても市民総ぐるみのボランティア活動として推進をしている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
清掃活動等への市民の参加意欲は高くなり、ボランティア活動への参加者は増加している。新市となり、自治公民館の参加も増加しており、公共の場を清掃しようという気運が高まっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
9月は敬老の日や体育祭など行事が重なるため、日程を変更して欲しいと地区自治公民館長から要望がある。また、ふれあいボランティア活動なのに中高校生の参加が少ないとの意見が自治公民館からある。	

事務事業名	地域のボランティア活動の推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 地区自治公民館を中心とした市民総ぐるみでのボランティア活動により、公共の場を清掃し、まちを美しい状態に保つ活動を行ってもらうことは、地域の特性を活かした美化活動を促進することに結びついている。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 各地域ごとの清掃活動は多くの地域で行っているが、市内一斉清掃を行うことにより市民のボランティアへの参加意識の向上と一体感を生むこととなり、地域の特性を活かした美化活動を促進することから、目的として妥当である。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 市民総参加のふれあいボランティア活動として市内全域の清掃活動を推進するため、地区自治公民館を対象とした。意図としては、公共の場の清掃活動あり、妥当である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 本事業は、合併により市内全域に広げたものである。市内全ての地区自治公民館が参加することにより、市民総参加のボランティア活動となるので、その成果を向上させることができる。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 市民のボランティア活動参加の機会が減り、地域の連携意識低下を招く。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 各地区自治公民館単位での清掃活動は頻繁に行われているが、市民のふれあい一斉清掃は、この事業だけである。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費は、各地区自治公民館への事業費助成経費である。すでに各地区自治公民館にも応分の負担してもらっており、これ以上の削減余地はない。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 各地区自治公民館からの計画書や報告書を基に支払い事務などを行うものであり、削減の余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 受益機会については、直接の受益者は公共の場の一斉清掃活動を実施した地区自治公民館であるが、その活動は公共の場の清掃であり、受益者は広く市民となるので公平である。 また、費用負担については、各地区自治公民館にも応分の負担してもらっており、改めて受益者負担を求める必要はないと考える。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成18年度から全市に広げた事業であり、市内全地区自治公民館の参加にはいたっていないが、参加する地区自治公民館が増加してきており、総参加の事業として推進していく。																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<改革改善案> 市民総ぐるみでのボランティア活動を実現するため、全地区自治公民館の参加をお願いするとともに、学校や教育委員会との連携を図り、中学生・高校生の参加を促進する。また、開催の時期についても検討する。																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
----------------------------------

No.	110-040	事務事業名	朝読み・夕読み活動推進事業	所属部	総務部
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあまちづくり	所属課	総務課
	施策名	0 2	青少年の健全育成	課長名	宗像 成昭
	基本事業名	0 1	体験と学びを支援する環境づくり	所属G(係)	市民運動推進室
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
子供たちの読書離れを防ぐため、地域で行う朝読み夕読み活動の環境づくりを支援する事業。 地域子ども朝読み夕読み実践推進会への支援(新町、向花、府中、野口、上小川地区への助言及び経費の助成)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 50 年代 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 朝読み夕読み参加団体数	団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	地域子ども朝読み夕読み実践推進会	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 朝読み夕読み推進団体数	団体
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	子ども達の活字離れを防ぎ、読書活動を推進する。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 参加した団体の割合	%
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	霧島市の豊かな自然環境の中で様々な体験活動ができる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 体験活動プログラムに参加した児童生徒の満足度	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	50	50	50	100		
	事業費計(A)	千円	50	50	50	100			
活動指標	ア	団体	5	5	5	10			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	団体	14	14	14	14			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	35.71	35.71	35.71	71.4			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%			93	90			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
子ども達の読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものにし、人生をより深く生き抜く力を身につけていく上で欠くことのできないものであるため、昭和50年代に国分の新町・向花・府中・野口・上小川地区で開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
輪番制を組み、各公民館施設で公民館放送等を利用している。推進する地域が増加していない。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
家庭での子どもたちの読書離れが進んでおり、地区自治公民館での朝読み夕読み活動により活字離れが減少するとの意見が家庭から寄せられている。	

事務事業名	朝読み・夕読み活動推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	子どもたちの読書離れを防ぎ、地域で行う朝読み夕読み活動の環境づくりを推進するため、地域の子も朝読み夕読み活動実践推進会を支援することは、体験と学びを支援する環境づくりに結びついている。																													
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	地域で行われている朝読み夕読み活動の環境づくりを推進することは、子どもたちの読書離れを防ぐこととなり、体験と学びを支援する環境づくりを促進するもので、目的として妥当である。																														
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	現在のところ新町、向花、府中、野口、上小川の5地区が推進している事業であるが、他の地区でも希望する団体が出てくれば望ましいことである。意図としては、子どもたちの活字離れを防ぎ、読書活動を推進することとしており、妥当である。																														
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	現在5地区が取り組んでいる事業である。取り組む地区が増えることにより、成果が向上する。																													
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	地域で朝読み夕読み活動を推進する団体が減少し、子どもたちの活字離れが進む恐れがある。																														
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 市立図書館が推進する読書活動 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	市立図書館が推進する読書活動との連携が可能ではないかと思われる。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	朝読み夕読み活動を推進するために最低限必要な消耗品代の支援であり、削減の余地はない。																													
<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	市としての事務は、申請の処理と委託経費の支払である。業務時間はわずかであり、これ以上の削減余地はない。																														
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	受益機会については、現在は5地区への支援に留まっているが、実施希望の団体があれば支援を行う態勢をとっているため、公平。 受益者負担については、市からの支援は事業実施に最低限必要な消耗品代の支援としており、経費の大部分は朝読み夕読み推進団体の負担となっているため、適正なものである。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後、事業の展開を図るには、市立図書館が推進する読書活動との連携を図ることが必要となる。また、推進団体の増加が不可欠である。																												
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
< 改革改善案 > 市立図書館が推進する読書活動との連携を図るため、組織作りを図る。地域や学校との連携を強化し、推進団体の増加を図る。																															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																															



No.	110-050	事務事業名	あいさつ運動推進事業	所属部	総務部
政策体系	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	所属課	総務課
	施策名	0 2	青少年の健全育成	課長名	宗像 成昭
	基本事業名	0 2	青少年の非行防止のための環境づくり	所属G(係)	市民運動推進室
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
道義高揚運動が始まって以来、家庭・地域・学校の連携のもと、あいさつ運動に取り組んでおり、各校区単位でのあいさつ運動が盛り上がってきている。各校区では、愛のパトロール活動、登下校時のあいさつや声かけ運動など幅広い活動を展開し、青少年の非行防止や抑止効果に役立っている。 また、平成16年度から、希望する校区を対象にモデル事業を導入し、積極的な取り組みを進めてもらっている。モデル校区には、活動に必要な腕章や旗などの購入費用を助成している。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 44 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア モデル校区	校区
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ あいさつ運動の推進校区	校区
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	校区青少年育成連絡会(各学校にできるよう推進している。)	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	家庭・地域・学校の3者連携であいさつ運動に取り組み、青少年の非行防止や抑止効果を生む。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	社会のルールを身につけ、守る。 非行をさせない環境をつくる(環境となる)。	ア 市内各小・中学校の数	校
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 事業を実施した校区の割合	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア	%
		イ	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	600	600	700	700	
		事業費計(A)	千円	600	600	700	700	
活動指標	ア	校区	12	12	14	14		
	イ	校区	17	20	20	27		
	ウ							
対象指標	ア	校	46	46	46	46		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	39.9	43.4	43.4	58.7		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	28.1	12.3	15.6	14.0		
	イ	%	16.6	22.0	24.6	24.0		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
旧国分市で昭和44年に道義高揚運動を開始以来、温かい人間関係をつくるため、あいさつ運動を展開しており、平成11年度からは、家庭・地域・学校の3者連携による運動となった。平成16年度からは、モデル校区を定め、モデル事業としてあいさつ運動を展開しており、平成18年度からは、新市の校区を対象としている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
青少年を取り巻く環境は日々悪化している。これに伴い、あいさつ運動も愛のパトロール隊の設置や登校時の声掛けなど変化している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
あいさつ運動モデル校区の指定を受けたことにより、防犯パトロール隊の結成やあいさつ標語コンクールの実施ができたこと、実施校区からは喜ばれている。	

事務事業名	あいさつ運動推進事業	所属部	総務部	所属課	総務課																				
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																									
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																							
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																							
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																							
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																							
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																							
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																							
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																							
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																							
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																							
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		あいさつ運動を3者により推進することは、青少年の非行防止や抑止効果を生むとともに子どもたちが犯罪に遭遇することを防ぐ効果があり、全学校へ推進を呼びかけていきたい。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

政策体系	No.	110-070	事務事業名	地域で育てる青少年健全育成事業	所 属 部	総務部
	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	所 属 課	総務課	
	施策名	0 2	青少年の健全育成	課 長 名	宗像成昭	
	基本事業名	0 2	青少年の非行防止のための環境づくり	所 属 G ( 係 )	市民運動推進室	
				電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費	根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
「自分の校区に住む青少年は、校区で責任を持って育成する」という考えから各小・中学校区に校区青少年健全育成連絡会を設置し、地域の特性を活かした青少年の健全育成事業を展開することにより、地域ぐるみによる青少年健全育成の環境作りを行う事業。校区青少年健全育成連絡会の設置(市内校区に設置し、校区内の青少年健全育成を推進する団体の役員がメンバーとなり、青少年の健全育成について協議を行うとともに補導や声かけ運動など実践活動を行う。)霧島市青少年健全育成支部会議の設置(旧3町に設置し、地域の代表者がメンバーとなり、地域性をもった青少年健全育成を推進している。)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 11 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
各小・中学校区青少年健全育成に関する連絡会への指導・助言・経費の助成 霧島市青少年健全育成に関する支部会議への経費の助成		ア	校区青少年育成連絡会の設置数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	支部会議の設置数
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市内小・中学校 市青少年健全育成支部会議		名称	
		単位	
		ア	市内の小・中学校の数
		イ	市内の支部会議の数
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
青少年健全育成連絡会が設置される。 市青少年健全育成支部会議が設置される。		名称	
		単位	
		ア	設置した校区の割合
		イ	設置した支部の割合
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
社会のルールを身につけ、守る。 非行をさせない環境をつくる(環境となる)。		名称	
		単位	
		ア	青少年が他人に迷惑をかけるという行動が以前に比べて減ったと考える市民の割合
		イ	青少年の健全育成にとって市民が望ましい環境となっていると考える市民の割合
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	660	590	475	995		
		事業費計(A)	千円	660	590	475	995		
活動指標		ア 校	24	27	25	33			
		イ 地区	3	3	1	5			
		ウ							
対象指標		ア 校	46	46	46	46			
		イ 地区	6	6	6	6			
		ウ							
成果指標		ア %	52.2	58.7	54.3	71.7			
		イ %	50.0	50.0	16.7	83.3			
		ウ							
上位成果指標		ア %	28.1	12.3	15.6	14.0			
		イ %	16.6	22.0	24.6	24.0			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
21世紀を担う青少年を心豊かでたくましく育成するため、地域ぐるみで青少年健全育成に取り組みむこととし、各小・中学校区への校区青少年健全育成連絡会の設置を平成11年度から旧国分市で開始した。また、合併に伴い、平成18年度から旧6町に青少年健全育成を検討する支部会議の設置を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
青少年を取り巻く環境は、治安の悪化や有害図書等の氾濫など、放置できない状況にあるが、校区の青少年育成連絡会や青少年健全育成支部会議が活動することにより、地区民の意識の高揚に役立ち、防犯パトロール隊の発足や有害図書自動販売機追放運動にもつながっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
学校・家庭・地域が連携し、校区に住む子どもたちを責任をもって育成することができるようになったとの地区民からの意見がある。校区青少年育成連絡会を開催できない学校の先生方からは、類似する会議が多すぎて開催できないとの意見がある。	

事務事業名	地域で育てる青少年健全育成事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	未設置の地域・学校に青少年支部会議及び校区青少年健全育成連絡会の設置を急ぐべきである。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 新しく支部会議や連絡会を設けることについて、理解を得られない。粘り強く設置に向け協議していきたい。																								

No.	110-080	事務事業名	薩摩義士顕彰会運営支援事業				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり				課長名	宗像 成昭
	施策名	04	伝統文化の保存・継承				所属G(係)	市民運動推進室
	基本事業名	01	伝統文化を学ぶ環境づくり				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	01	10010	市民運動推進経費	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
宝暦4年(1754年)の木曾川治水工事(宝暦治水)における薩摩義士の尊い偉業と、その崇高な精神を後世に永く伝えるため、薩摩義士顕彰会を組織し、薩摩義士が残した業績と精神を顕彰するとともに、さらに詳しい調査研究を進める。また、姉妹都市である岐阜県海津市の「報恩感謝」の気風を学ぶとともに、鹿児島県や岐阜県にある薩摩義士顕彰団体との連携を深める。 主な活動としては、薩摩義士顕彰会設立総会、薩摩義士慰霊祭へ参加し報恩感謝の気風を学ぶ、隼人地区に墓のある薩摩義士「山元八兵衛」の研究及び慰霊墓参、薩摩義士研修会の開催、広報誌の発行、が挙げられる。なお、事務局は市民運動推進室が担っている。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 19 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 総会の開催	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	昨年度と同様	イ 薩摩義士慰霊祭参加者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民、薩摩義士顕彰会会員	ウ 「山元八兵衛」慰霊墓参参加者数	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	薩摩義士の顕彰活動をとおり薩摩義士の崇高な精神を学ぶとともにその精神を後世に永く伝える。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ 薩摩義士顕彰会会員	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 薩摩義士顕彰会の事業参加者数	人
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 伝統文化を知っている市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		70	266	270	
		事業費計(A)	千円	0	70	266	270	
活動指標	ア	回		1	1	1		
	イ	人		17	10	15		
	ウ	人		28	23	25		
対象指標	ア	人		127,773	128,128	128,383		
	イ	人		91	124	150		
	ウ							
成果指標	ア	人		91	124	140		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%		71.5	79.7	72.0		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
市町合併により霧島市となったことを機に、これまで各市町で個別に活動していた薩摩義士に関する団体や個人を集約し、市として一体性のある取り組みを行うため、平成19年度に薩摩義士顕彰会を組織した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
薩摩義士顕彰会設立時(H19年4月)の会員は45名だったが、順調に増えてきている。今後も、研修会の開催や広報誌の発行等により、さらなる会員の増加が期待される。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
薩摩義士に関する調査・研究を充実するため、霧島市内にある薩摩義士の関係団体の一本化を図る必要があるとの意見があった。また、市議会議員からは薩摩義士の語り部を育成する必要があるのではないかと意見があった。	

事務事業名	薩摩義士顕彰会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷			
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	木曾三川の治水工事を行った薩摩義士の偉業を顕彰することは、現在も続く岐阜県民の薩摩義士に対する報恩感謝の気運を市民に広く学んでもらうとともに伝統文化を大切に思う心を育て、地域の伝統文化を知ることにつながる。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷			
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	宝暦治水工事を行った薩摩の先人、薩摩義士について顕彰を行うことは、地域の伝統文化を学び郷土を知る上で非常に有効であるので、妥当。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷			
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	薩摩義士の顕彰活動をおとして薩摩義士の偉業を広く市民に知ってもらうため、対象を市民・顕彰会会員とした。また、薩摩義士の崇高な精神を広く市民に学んでもらうことにより、伝統文化を大切に思う心が育まれるため、意図としても妥当である。			
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷			
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	薩摩義士顕彰会の設立や入会について市民からの問い合わせが多く関心が高い。今後も会員を増やしていくことで、成果の向上が期待できる。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷			
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	宝暦治水を行った薩摩義士の偉業を後世に伝える機会・手段が減少する。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 薩摩義士に関心がある県民を募集して組織している「県薩摩義士顕彰会」と「美濃の会」 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷			
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	霧島市として、薩摩義士に関心がある団体や個人をひとつにまとめ、地域に密着した顕彰活動を行う必要があり、薩摩義士顕彰会を市単独で設立した経緯があるが、調査研究については、先進団体である「美濃の会」や岐阜県の薩摩義士顕彰会などとも連携を図っていく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷			
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費については、研修会の経費、調査広報誌の経費が主であり、会の運営上必要不可欠な費用であるため、削減の余地はない。			
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷			
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	薩摩義士顕彰会の事務局としての業務を行っている。平成19年度に発足した組織であり、現状で事務局機能を外部に移すことは難しい。当面は市が事務局を担い、時期をみて事務局を移していく。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷			
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?					
会員は広く市民から募集しており、研修会への参加についても会員・非会員の制限を設けていない。調査研究の発表も広く市民に向けて行っているため、受益機会は公平。また、費用負担についても、会員から会費等を徴収し、会の運営に充てているので、公平・公正。					

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 今後も会員を増やしていくことで、顕彰会の活動を今まで以上に充実したものとすることが必要。																											
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
<改革改善案> 様々な機会をおとして顕彰会の活動などを広報する。																													

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	110-090	事務事業名	ふるさと霧島カルタ活用事業				所 属 部	総務部	
							所 属 課	総務課	
			政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり			課 長 名	宗像成昭
			施策名	0 5	学習機会の充実			所 属 G ( 係 )	市民運動推進室
基本事業名	0 1	学習環境づくり			電 話 番 号	45-5111			

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 霧島市の豊かな自然、観光資源、歴史的遺産、産業など、恵まれたふるさとの魅力を市民一人一人が認識し、郷土に対する愛着を深めるため、ふるさと霧島カルタを作成した。 読み句と絵札については、ふるさと霧島カルタ制作委員会(各地区の代表、学校及び市の推薦者計10名)を設けて公募し、選考、決定した。 完成したカルタは、印刷し、学校や自治公民館等に無償配布するとともに各家庭には有償販売を行う。 このカルタを活用し、学校・自治公民館等で、カルタ大会を実施する。	事業期間
	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H 19 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 ア カルタの読み区公募数 イ カルタの絵札公募数 ウ カルタ大会の開催回数	単位 通 通 回
21年度計画(21年度に計画している主な活動) カルタの配布、普及活動		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 人口 イ ウ	単位 人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 読み句を応募した市民 イ 絵札に応募した市民 ウ カルタ大会に参加した市民	単位 人 人 人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ふるさと霧島カルタにより、ふるさとの魅力を認識することができるようになる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合 イ ウ	単位 %
結果(どんな結果に結び付けるのか) 地区に合った学習を行う環境が整う。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		531	1,258	200		
	事業費計(A)	千円		531	1,258	200			
	人件費	正規職員従事人数	人		3	3	1		
		延べ業務時間	時間						
		人件費計(B)	千円		0	0	0		
		トータルコスト(A)+(B)	千円		531	1,258	200		
活動指標		ア	通			48			
	イ	通			48				
	ウ	回				1			
対象指標	ア	人		127,773	127,450	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人		0	1,473	0			
	イ	人		0	620	0			
	ウ	人		0	0	1,500			
上位成果指標	ア	%		26.4	31.2	31.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成18年度に霧島市の市民憲章と市の宣言を制定しており、霧島市市民憲章等検討委員会において新市霧島市を子どもたちに知ってもらうため、ふるさとを題材としたカルタを制作したらどうかとの意見があり、ふるさと霧島カルタを制作することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
霧島市市民にカルタの読み句・絵札の絵を募集し、多くの市民、子どもたちからの作品の提出を得て、平成20年度にカルタが完成した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
霧島市市民憲章等検討委員会において、子どもたちに霧島市の地理、歴史、文化、産業、観光地などを遊びながら知ってもらうため、カルタの制作の必要性についての意見が出された。また、活用策についてもカルタ大会の開催など検討の必要性を提言された。	

事務事業名	ふるさと霧島カルタ活用事業	所属部	総務部	所属課	総務課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	霧島市の豊かな自然、観光資源、歴史遺産、産業などをカルタとしてまとめ、ふるさと霧島の魅力を一人一人が認識するため、カルタを制作し、カルタ大会などを行うことは、地域にあった学習を行う環境が整うことに結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	霧島市の豊かな自然、観光資源、歴史遺産、産業などをカルタをととして知ることは、住んでいる地域を学ぶことにつながるから、目的として妥当である。																													
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																													
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	カルタの制作に市民の力を活用するため、読み句や絵札を公募した。また、作成したカルタは学校・地域で利用してもらうようにしているので、対象は妥当である。カルタの制作に関わったり、カルタ大会に参加することにより、郷土を知ることができ、郷土に対する愛着や市民の連帯感が深まることとなり、意図も妥当である。																													
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	カルタの作成・配付を行ったところである。今後は、学校・地域でカルタ大会を開催し多くの人に参加してもらい、カルタを覚え住んでいる地域を学んでいただくことにより、成果を向上させることができる。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	ふるさと霧島の魅力を学習し、愛着を深めてもらう機会が減少する。																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない 類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																													
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																														
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	カルタの普及活動に必要な不可欠な経費であり、削減余地はない。																													
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	カルタの制作・配付が終了した現在、主な業務は普及にかかるとしては、学校や自治公民館を活用することとしているので、業務時間としては少ない。市がカルタ大会を主催する場合、準備から各種調整、当日の運営まで様々な業務を行うが、無理・無駄のない運営を行い、業務時間の削減に努めたい。																													
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
ふるさと霧島カルタの制作については、読み句、絵札を公募により募集しており、多くの市民が参加できるようにした。また、カルタ大会についても学校や地区自治公民館等において開催を計画し、市民が参加しやすいものを考えているので、受益機会は公平である。カルタの配付については、学校や地区公民館といった公共の施設には無償で行ったが、各家庭から希望があった場合は購入していただくこととしている。																															
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	カルタ大会の開催など、今後の活用が大切である。																												
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
<改革改善案> 学校や地区自治公民館等への広報活動やカルタ大会の開催依頼などを行う。																															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																															



No.	110-100	事務事業名	道義高揚啓発用看板の設置管理事務	所属部	総務部
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり	所属課	総務課
	施策名	0 1	市民参加によるまちづくりの推進	課長名	宗像 成昭
	基本事業名	0 1	まちづくりに関する意識の醸成	所属G(係)	市民運動推進室
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
道義高揚運動が推進する事業(あいさつ運動、実践目標等)の啓発を図るため、市内に啓発看板が設置されている。この看板を設置及び管理する事務。 現在は、合併に伴う看板の書き換えや、古くなった看板の撤去を主に行っている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 45 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様。	ア 看板の撤去数	箇所
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 看板の書き換え数	箇所
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	道義高揚啓発用看板	ウ 看板の新設数	箇所
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	不都合なく管理される。 (不都合 = 古くなり安全面で問題がある、表示が合併前の自治体名である、など、看板が本来の用をなしていない状態)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	まちづくり活動に関心を持つ	ア 道義高揚啓発用看板の既設数	箇所
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 不都合のある看板の数	箇所
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア まちづくり活動に参加したいと考える市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	476	180	9	60	
		事業費計(A)	千円	476	180	9	60	
活動指標	ア	箇所	19	15	0	0		
	イ	箇所	30	10	1	4		
	ウ	箇所			0	0		
対象指標	ア	箇所	79	60	45	40		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	箇所	30	5	4	0		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	56.4	47.3	59.2	64.0		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 旧国分市において、道義高揚運動啓発看板や祖先敬愛看板を昭和45年度から随時設置している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 設置された看板の古くなったものの撤去や合併による書き換えを行っており、新規の設置は控えている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 道義高揚運動が関係する事業の看板や祖先敬愛看板の設置について地区自治公民館から設置希望がある。	

事務事業名	道義高揚啓発用看板の設置管理事務	所属部	総務部	所属課	総務課																						
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																											
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																									
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																									
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																									
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																									
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																									
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																									
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																									
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																									
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																									
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																											
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																									
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		引続き啓発看板の管理を行っていく。																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
	低下																										
	(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	110-110	事務事業名	建国記念の日祝賀行事の開催事業	所属部	総務部
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり	所属課	総務課
	施策名	0 1	市民参加によるまちづくりの推進	課長名	宗像成昭
	基本事業名	0 1	まちづくりに関する意識の醸成	所属G(係)	市民運動推進室
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
国の誕生を祝い、今日の発展の礎を築き上げた遠い先人に感謝し、祝賀行事を行う。 2月11日建国記念の日開催。市内7地区の持ち回りで開催し、公民館や市民会館などで開催。 式典の主な内容 オープニング、国歌斉唱、主催者及び来賓挨拶、薬丸野太刀自顕流演武、郷土芸能等 入場は無料	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 40年代~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	溝辺地区で開催	ア 参加者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	隼人地区で開催	イ プログラム数	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	新市や地域を知る。 国の誕生を祝う機会が得られる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	まちづくり活動に関心を持つ。 活動参加の機会(場)が得られる。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 祝賀行事に参加した人の割合	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア まちづくり活動に参加したいと考える市民の割合	%
		イ まちづくり活動に参加したいと考える市民の割合と行っている市民の割合の差	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	549	162	214	158		
	事業費計(A)	千円	549	162	214	158			
活動指標	ア	人	300	330	500	370			
	イ		12	12	12	12			
	ウ								
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	0.24	0.26	0.39	0.28			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	56.4	47.3	59.2	64.0			
	イ	%	9.6	3.4	11.3	7.0			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和40年代から、国の誕生を祝い、先人の偉業に感謝し、国を愛する心を養い、より豊かで平和な日本を築くために旧国分市で実施してきた。合併後も引き続き実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
旧国分市での開催の時は、パレードを行い式典参加者だけでなく、市民皆で祝う行事であったが、霧島市となり各地区を持ち回りすることとなり、式典だけの行事となっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
開催場所を7地区の持ち回りで実施しており、場所が遠くなったとの意見が旧国分市からの参加者にある。	

事務事業名	建国記念の日祝賀行事の開催事業	所属部	総務部	所属課	総務課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	国の誕生を祝い、先人の偉業に感謝し、国を愛する心を養い、より豊かで平和な日本と霧島市を築くため、祝賀行事を行うことは、市民がまちづくり活動への関心を持ち、活動参加の機会が得られることに結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	国の誕生を祝い、先人の偉業に感謝し、国を愛する心を養い、より豊かで平和な日本と霧島市を築くため、祝賀行事を持ち回りで行うことは、地域を知るとともに国の誕生を祝う機会が得られ、まちづくりに関する意識の醸成を図られることで、まちづくり活動への関心を持つことにつながるため、目的として妥当である。																													
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																													
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象としては、市内全域から参加者を募っており、適切である。意図としても、この様な行事とおしてまちづくりに関する意識を醸成するとともにまちづくり活動へ関心を持つことにつながるため、適切である。																													
効果 率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	平成18年から霧島市の全地域を持ちまわりすることとした事業である。各地域を回ることにより、地域を知るとともに国の誕生を祝う機会が得られ、市民のまちづくり活動への関心が広がることによって、その成果を向上させることができる。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
公平 性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	国の誕生を祝う機会が減少する。																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない 類似事業はない。																													
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																													
公平 性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	主な経費は、会場設営費である。会場の状況に応じ必要な経費を計上しており、現在のところ経費削減の余地はない。																													
公平 性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	主な業務として、参加者等との連絡調整・会場準備・当日の運営が挙げられるが、式典開催のため必要不可欠な業務であり、削減の余地がない。また、開催日が建国記念の日であるとともに大事な式典であり、業務委託は、好ましくないと思われる。																													
公平 性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	広く市民に参加を呼びかけており、受益機会は公平。また、国の誕生を祝う行事であり、受益者負担を求めるとはならない。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			市内各地区を持ちまわり、実施していく必要がある。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可				(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
< 改革改善案 > 平成21年度は隼人地区で開催する。																															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																															
現在は各地区を持ち回りで開催をしているが、一巡したら会場を一箇所に定めるか、引続き持ち回りで開催するか等を含め、検討の余地がある。																															

No.	110-120	事務事業名	新春市民のつどいの開催事業	所属部	総務部
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり	所属課	総務課
	施策名	0 1	市民参加によるまちづくりの推進	課長名	宗像 成昭
	基本事業名	0 1	まちづくりに関する意識の醸成	所属G(係)	市民運動推進室
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
新しい年の記念すべき初日の出を遠くから拝み、新年の決意と希望を新たにする。 元旦の早朝に国分城山公園で開催。 市長の年頭のあいさつ、各地区の小・中学生代表者の新年の抱負発表の後、初日の出を遠くから拝み、参加者の一年之计を立てる。 天候に左右されるが、例年800名程度の参加がある。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 47 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 参加者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	昨年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	新年の決意と希望を新たにするにより、市民活動への参加意識を高める。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	・まちづくり活動に関心を持つ。 ・活動参加の機会(場)が得られる。	ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 参加者数の割合	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア まちづくり活動に参加したいと考える市民の割合	%
		イ まちづくり活動に参加したいと考える市民の割合と行っている市民の割合の差	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	185	152	152	143	
		事業費計(A)	千円	185	152	152	143	
活動指標	ア	人	800	900	600	1,000		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	0.63	0.7	0.47	0.79		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	56.4	47.3	59.2	64.0		
	イ	%	9.6	3.4	11.3	7.0		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和47年、元旦の日の出を国分城山の頂上で遠くから拝み、郷土の進展と景観に触れるとともに、特に青少年が年頭の自覚を高め、健全な心身を養うために旧国分市で始められた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
年頭の所感発表を小・中学生一言リレー発表とし、旧国分地区の各小・中学校代表者2名の発表だったものが、市内全域の小・中学生の、リレー発表となった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
元旦には市内の各地区・自治会単位で様々な行事が開催されており、子ども達の参加など重なりがあるので調整してほしいという意見が市民からある。	

事務事業名	新春市民のつどいの開催事業	所属部	総務部	所属課	総務課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 新しい市の記念すべき初日の出を遠くから拝み、新年の決意と希望を新たにするとともに郷土の発展を願うことは、まちづくり活動に関心を持つことに結びつく。																												
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市長や市内に住む小・中学生の新年の決意や希望を聞くことにより、参加者の新たな決意を促すことは、市民活動への参加意識を高め、新たなまちづくりに役立つものであり、目的として妥当である。																												
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象としては、市内全域の参加を募っており、適切である。また、意図としては、本事業が市民の新年の決意と希望を考える機会となっているので、適切である。																												
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 多くの市民が参加し、市長や市内の小・中学生代表者の新年の決意や希望を聴くことで、参加者が一年之計を考える機会となり、結果として市民活動へ参加したいと考える市民が増えることにつながるため、成果の向上が期待できる。																												
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 市長や子どもたちの決意や希望を聞き、参加者自らも一年之計を考えることができる機会が少なくなる。																												
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 正月に開催されるほかの各種事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 正月に開催されるほかの各種事業と違い、初日の出を遠くから拝みだけでなく、市長や小・中学生の新年の決意や希望の発表を行っているため、連携は不可能である。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																												
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 主な経費は、会場設営費である。開催に必要な経費を計上しており、現在のところ経費削減の余地はない。																												
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 主な業務として、参加者等との連絡調整・会場準備・当日の運営が挙げられるが、式典開催のため必要不可欠な業務であり、削減の余地がない。また、正月の朝早くからの開催であり、民間委託は不可能である。																												
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 全市民が参加できる事業であり、発表をする小・中学生についても市内全域から参加してもらっているため、受益機会は公平。また、費用負担を求める性質の事業ではない。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		より多くの市民の参加を得、成果を向上させる必要がある。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														

No.	110-130	事務事業名	善行者表彰事業	所 属 部	総務部
				所 属 課	総務課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり	課 長 名	宗像成昭
	施策名	0 1	市民参加によるまちづくりの推進	所 属 G ( 係 )	市民運動推進室
	基本事業名	0 1	まちづくりに関する意識の醸成	電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
道徳的に極めて顕著な善行行為で市民から尊敬されている方や地域でボランティア活動に積極的に活動されている個人・団体を表彰する。 地区自治公民館、学校、社会教育団体等に依頼し、地域で積極的な活動をされている方を推薦いただき、道義高揚・豊かな心推進協議会代議員会で検討し、表彰を決定する。大人だけでなく子どもや団体の表彰も行っている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 44 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 表彰者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	昨年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	善行者として表彰される。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	まちづくり活動に関心を持つ。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 表彰を受けた市民の割合	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア まちづくり活動に参加したいと考える市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	240	392	342	280	
		事業費計(A)	千円	240	392	342	280	
活動指標	ア	人	14	10	18	60		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	0.01	0.01	0.01	0.04		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	56.4	47.3	59.2	64.0		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 市民のボランティア活動への積極的な参加を促すため、昭和44年度から実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? ボランティア活動等への積極的な市民の参加を促すため、「10年以上活動している」という基準を廃止し、地道に実践された市民を対象としたため、表彰者の増加が期待できる。また、商工会議所から表彰に対する協賛金をいただいている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地道な活動を推進している方々を表彰するよう、道義高揚・豊かな心推進協議会代議員や地区自治公民館長から意見があった。	

事務事業名	善行者表彰事業	所属部	総務部	所属課	総務課																				
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																									
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																							
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																							
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																							
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																							
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																							
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 霧島市民表彰 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																							
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																							
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																							
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																							
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		地域で積極的にボランティア活動を推進している個人や団体を表彰する事業であり、今後の共生・協働のまちづくりの推進に必要なものと考えているが、霧島市民表彰とのすみ分け、統廃合の必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 統廃合した場合、霧島商工会議所から表彰経費としていただいている協賛金についてどのように対処するか協議の必要がある。																									



No.	110-140	事務事業名	道義高揚・豊かな心推進協議会運営事業			所 属 部	総務部
						所 属 課	総務課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり			課 長 名	宗像成昭
	施策名	0 1	市民参加によるまちづくりの推進			所 属 G ( 係 )	市民運動推進室
	基本事業名	0 1	まちづくりに関する意識の醸成			電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
道義高揚・豊かな心推進協議会の実施する事業の運営及び推進策について協議を行う。 本部役員会、代議員会、推進会議を開催し、協議会を運営する。 本部役員会は、本部長(市長)、副本部長(議長、自治公民館代表等)・事務局長(部長)が出席し、事業内容を協議し、事業を実施する。 代議員会は、各地区、団体の代表者からなる会で、協議会の運営及び事業について審議し、議決する。 推進会議は、市民の代表者からなる会で、住みよい郷土の発展を図るため、必要な基本事項を協議する。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 44 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 会議の開催数	回
市民の自主的学習や実践活動(ボランティア活動等)への積極的な参加を促すための会議の開催。		イ 出席者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	
前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		名称	単位
本部役員(市長、議長、副市長、教育長、自治公民館代表)		ア 本部役員等の役員数	人
代議員(各地区代表者、推進団体の代表者)		イ	
推進委員(生涯学習・青少年育成・環境美化等の市民代表者)		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
協議会の推進する事業・運営について協議を行い承認する。 また、推進策を協議する。		名称	単位
結果(どんな結果に結び付けるのか)		ア 議案の承認数	議案
まちづくり活動に関心を持つ。		イ 推進策の数	本
活動参加の機会(場)が得られる。		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア まちづくり活動に参加したいと考える市民の割合	%
		イ まちづくり活動に参加したいと考える市民の割合と行っている市民の割合の差	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	0	105	20	133	
事業費計(A)	千円	0	105	20	133			
活動指標	ア	回	1	4	4	4		
	イ	人	6	200	200	200		
	ウ							
対象指標	ア	人	300	300	300	300		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	議案	25	25	25	25		
	イ	本	3	3	3	3		
	ウ							
上位成果指標	ア	%	56.4	47.3	59.2	64.0		
	イ	%	9.6	3.4	11.3	7.0		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
地域社会における連帯感や協調性の薄れに対応するため、昭和44年10月に旧国分市が道義高揚都市の宣言を行ったことに伴い、この協議会が発足した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
協議会発足当時よりも、連帯感や協調性の薄れは顕著になってきているが、市民のボランティア活動や生涯学習活動への参加を促す協議会の役割は増えている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市民から、道義高揚という言葉は難しい、市民への広がりが足りない、成果がはっきりしない、といった意見がある。	

事務事業名	道義高揚・豊かな心推進協議会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課																									
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																												
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	道義高揚・豊かな心推進協議会の各種会議で、市民の自主的学習や実践活動(ボランティア活動等)への積極的な参加を促すための様々な推進策や事業について協議決定してもらい、決定事項を実施していくことにより、市民がまちづくり活動に関心を持ち、参加の場が得られることにつながるため、政策体系に結びついている。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																												
なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市民参加によるまちづくりのための会議の実施であり、目的として妥当である。																													
有効性 評価	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																												
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	市民の代表として、各種団体や様々な分野の方に本部役員、代議員、推進委員となってもらい、市民の自主的学習や実践活動への積極的な参加を促すための協議をしていただいているので、対象・意図ともに妥当である。																												
	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																												
成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	引続き各種会議を開催し、市民の自主的学習や実践活動への積極的な参加を促すための協議をしていただく。																													
効率性 評価	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																												
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	市民が自主的学習や実践活動(ボランティア活動)を推進するための会議であり、市民がまちづくりに積極的に参加しようとする気持ちを喚起するための協議をすることができなくなる。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																												
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																													
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																												
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費については、旅費の実費支給分が主なものであり、削減の余地はない。																												
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																												
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	会議開催にあたっての調整や、実際の会議運営が主な業務であり、業務時間の削減は難しい。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																												
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	市民の自主的学習や実践活動(ボランティア活動等)への積極的な参加を促すため各種会議を開催しており、最終的な受益者は広く市民となる。また、受益者負担を求めるものではない。																												
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 引続き各種会議を開催し、市民の自主的学習や実践活動への積極的な参加を促すための協議をしていただく。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																											
<改革改善案>			(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																											
			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														

No.	110-150	事務事業名	道義高揚・豊かな心推進大会運営事業	所属部	総務部
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり	所属課	総務課
	施策名	0 1	市民参加によるまちづくり推進	課長名	宗像成昭
	基本事業名	0 1	まちづくりに関する意識の醸成	所属G(係)	市民運動推進室
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
道義高揚・豊かな心推進大会は、生き生きと暮らせる住みよい霧島市づくりのため、より良い市民としてのあり方を考える機会とするため開催する。2月の第3土曜日、霧島市民会館で午後から開催。入場は無料。内容は、開会行事、善行表彰、花いっぱいコンクールの表彰やボランティア活動等の事例発表の場である。また、記念講演会として著名な方の講演を実施している。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 61 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 推進大会参加者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 大会のプログラム数	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	道義高揚運動について考える機会が得られる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	まちづくり活動に関心を持つ。活動参加の機会が得られる。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 参加した市民の割合	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア まちづくり活動に参加したいと考える市民の割合	%
		イ まちづくり活動に参加したいと考える市民の割合と行っている市民の割合の差	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	126	805	303	205		
		事業費計(A)	千円	126	805	303	205		
活動指標	ア	人	800	1,000	900	1,000			
	イ		16	16	16	16			
	ウ								
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	0.63	0.78	0.71	0.77			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	56.4	47.3	59.2	64.0			
	イ	%	9.6	3.4	11.3	7.0			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
道義高揚運動が推進するボランティア活動や生涯学習活動を率先して推進された方の表彰と事例発表の場として、昭和61年度から旧国分市において開催された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
表彰者も増え、事例発表も充実してきており、市民のボランティア活動の参加者が増えてきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市内の先進的なボランティア活動を知る良い機会であるとの参加者からの意見がある。	

事務事業名	道義高揚・豊かな心推進大会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	道義高揚・豊かな心推進大会を開催し、生き生きと暮らせる住み良い霧島市をつくるとともにより良い市民としてのあり方を考える機会が得られることは、まちづくり活動に関心を持つことに結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	道義高揚・豊かな心推進大会は、市民が各地で実施している花いっぱい運動やボランティア活動等の事例発表などを通じて、市民参加によるまちづくりを促すための大会であり、目的として妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は、この大会が住み良いまちづくりを考える機会であることから、市民としており、適切である。また、意図についても、まちづくりへの積極的な参加を促すものであることから、適切である。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	多くの市民に参加してもらい、善行表彰・花いっぱいコンクール表彰・ボランティア活動等の事例発表・記念講演会を観てもらうことで、成果の向上が期待できる。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	市内のボランティア団体の事例発表や善行行為を知る機会や、より良い市民としてのあり方を考える機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	表彰の経費、講師謝礼が主なものであり、削減余地がない。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	発表者等との連絡調整や会場準備、当日の式典運営が主な業務である。当日の式典運営については、正規職員の関与が望ましいため、削減の余地がない。発表者との連絡調整も、先方あつての業務なので削減は難しい。また、会場準備についても、式典を成功させる上では入念に行うべき業務であり、これ以上の削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘
公平性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	市民であれば誰でも参加できるので、受益機会は公平。また、花いっぱいコンクールの表彰やボランティア活動等の事例発表など、同じ市民の活動成果を、多くの市民に見ていただくことを意図しているので、特に受益者負担を求めている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	多くの市民に参加してもらい、善行表彰・花いっぱいコンクール表彰・ボランティア活動等の事例発表・記念講演会を観てもらうことで、成果の向上を図る必要がある。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											

No.	110-160	事務事業名	網掛川清掃管理委託事業			所 属 部	総務部
						所 属 課	総務課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり			課 長 名	宗像成昭
	施策名	0 1	市民参加によるまちづくりの推進			所 属 G ( 係 )	市民運動推進室
	基本事業名	0 2	まちづくりに参加しやすい環境づくり			電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	なし
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
網掛川を愛し、守ることによって、美しい郷土と情操豊かな人間作りを行う事業。 溝辺町網掛川の河川周辺の竹子・有川地区に生活する市民が清掃管理団体を組織する。 年に2回の愛護作業(清掃・草刈等)並びに総会(前年度の経過報告、決算承認及び当年度の事業計画、予算の承認)の実施。 定期的な河川パトロールの実施	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 49 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動) 溝辺町網掛川を守るための愛護作業年2回並びに総会の開催 定期的な河川パトロールの実施	⇒	ア 愛護作業の実施回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 昨年度と同様。	⇒	イ 事業参加者	人
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 溝辺町竹子地区・有川地区の住民	⇒	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 河川の流域を保全し、美しい状態に保つ活動を行う。	⇒	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) まちづくりや地域活動がしやすくなる。	⇒	名称	単位
		ア 竹子・有川地区の人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 事業に参加した地区民の割合	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア まちづくりや地域活動を行っている市民団体数	団体
		イ 支援制度を活用した市民団体数	団体
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	92	92	92	92		
	事業費計(A)	千円	92	92	92	92			
活動指標	ア	回	2	2	2	2			
	イ	人	500	500	500	500			
	ウ								
対象指標	ア	人	3,527	3,465	3,500	3,500			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	14.18	14.43	14.29	14.29			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	団体	1,197	1,213	1,194	1,200			
	イ	団体	243	263	317	320			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
溝辺町網掛川の河川周辺(竹子地区・有川地区)に生活する市民が、美しい郷土と情操豊かな人間づくりのため、網掛川の清掃・草刈・河川の維持管理の協力などを行う事業として、昭和49年度から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
河川への不法投棄の増加や雑草の生い茂りを防ぐため、住民へのPRや河川パトロールを実施しており、地域民の河川愛護の意識は向上してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
河川周辺の市民が川を愛し、守ることにより、空き缶やチリのポイ捨てが少なくなり、美しい河川が保たれているとの市民の意見がある。	

事務事業名	網掛川清掃管理委託事業	所属部	総務部	所属課	総務課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																												
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																												
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																												
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																												
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																												
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 環境美化里親制度 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																												
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																												
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																												
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		合併前から続けられていた事業であるが、今後は環境美化里親制度への一本化が必要である。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			< 改革改善案 > 環境美化里親制度への一本化を行う。																											
			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														

No.	110-180	事務事業名	海津市との姉妹都市交流事業	所 属 部	総務部
				所 属 課	総務課
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり	課 長 名	宗像成昭
	施策名	0 2	地域間・都市間交流の推進	所 属 G ( 係 )	市民運動推進室
	基本事業名	0 2	地域間・都市間交流活動の推進	電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 2	0 1	0 1	10010	市民運動推進経費	なし

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
江戸時代に木曾川治水工事(宝暦治水)を行った薩摩義士への報恩感謝の気風を持つ岐阜県海津市と、姉妹都市交流事業を行っている。 春(4月25日前後)と秋(10月25日前後)の海津市への訪問研修(海津市民との交流、慰霊祭参列、薩摩義士の偉業史跡視察 薩摩関係史跡研修) 参加者から一部負担を徴収 青少年交流研修(海津市中高校生との交流、相互ホームステイ、生徒会交流、5月に海津市から受入れ、8月に海津市を訪問) 海津市からの受入れ事業(5月25日前後、海津市民との交流、平田公園慰霊祭参列)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( S 45 年度 ~ )</span> <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( 年度 ~ 年度 )</span>

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 姉妹都市交流事業の開催回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	昨年度と同様	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民 中・高校生	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 人口	人
		イ 中・高校生	人
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	薩摩義士の偉業を学びながら、海津市民との交流を行う。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交流事業に参加した市民の数	人
		イ 薩摩義士の偉業を学んだ市民の数	人
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	定期的・継続的な交流関係を築く。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 交流活動に参加している市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	4,217	3,890	4,381	5,178		
事業費計(A)	千円	4,217	3,890	4,381	5,178				
活動指標	ア	回	5	5	5	5			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ	人	6,800	6,800	6,800	6,800			
	ウ								
成果指標	ア	人	97	70	73	70			
	イ	人	97	167	240	310			
	ウ								
上位成果指標	ア	%	8.2	3.9	4.8	10.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和43年に旧国分市と海津町の交流がはじまり、昭和45年に姉妹都市盟約を結び、姉妹都市交流事業が開始された。新市となり、平成18年に新たに海津市と姉妹都市盟約を結び姉妹都市交流事業も継続することとなった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併後、霧島市薩摩義士顕彰会が発足したり、市民が参加しやすいように一般公募方式を取り入れたりして、海津市との交流が充実してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
訪問研修の参加者人数の増加を図るよう議会や市民から意見が寄せられている。また、交流だけでなく、交流の基となった薩摩義士について、理解を深めるための勉強会や語り部の育成を図るよう議会や市民から意見が寄せられている。	

事務事業名	海津市との姉妹都市交流事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	薩摩義士の業績を学びながら、海津市民と交流を行うことは、定期的・継続的な交流関係を築くことに結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	姉妹都市盟約を結んだ都市との交流は、都市間交流を行う上で重要な位置付けがされるべきものである。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	姉妹都市交流の対象は市民であるため、対象は妥当である。定期的・継続的な交流関係を築くために、交流の基となった薩摩義士について学びながら、海津市との交流を行うこととしており、意図も妥当である。
効果 率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	訪問研修回数及び1回あたりの参加者数を増やすことで、薩摩義士の偉業について学ぶ機会も増えるため、成果を向上する余地がある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平 性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	定期的・継続的な交流関係を築くことが途切れるとともに薩摩義士の偉業や報恩感謝の気風を知る機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平 性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	主な経費は、海津市への訪問研修に要する旅費であり、参加者から一部負担金を徴収している。負担額を上げると、参加者が減少すると予想されるため、削減余地はない。
公平 性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	海津市役所の担当者、学校関係者及び旅行会社等との打ち合わせ・調整に多くの時間を要しているが、事業遂行に必要な時間であるため、削減余地はない。また、担当職員が一貫して業務に携わることで、事業がスムーズに行えるため、正職員以外の職員が従事することや部分的な委託も難しく削減余地はない。
公平 性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	参加者は公募により決定しているため、受益機会は公平である。また、参加者からは参加費を徴収しており、費用負担も公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	より多くの市民が薩摩義士の偉業を学びながら、交流を行うために、訪問研修1回あたりの参加者を増やすことを検討する必要がある。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											
訪問研修の参加者が増えれば事業効果は上がるが、事業コストも増加する。事業コストを維持するため、参加者の負担額を上げると、参加したいと思う市民が減少することが懸念される。																											



No.	110-250	事務事業名	無料法律相談事業				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	宗像成昭
	施策名	02	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	文書法制グループ
	基本事業名	02	効果的で効率的な組織・機構・業務の構築				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠 特になし	
	一般	02	01	04	13015	法制関係費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
鹿児島県弁護士会に委託して、弁護士を派遣していただき、市民の直面する法律問題に対する悩みの解決の糸口を提供する。 月に2回(国分、溝辺の2箇所)、1回あたり6人、1人につき30分、利用者負担なし(無料) 希望者は、鹿児島県弁護士会に直接電話し、予約を行う。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 12 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	実施回数
			回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	相談利用者数
昨年度と同様		ウ	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
		単位	
		ア	人口
		イ	人
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
弁護士による指導助言により法律問題を解決する糸口(方策・方向)を見出す。		名称	
		単位	
		ア	相談利用者数(実績)
		イ	人
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
効果的・効率的な行政サービスが提供できる。		名称	
		単位	
		ア	効果的・効率的なサービスが提供されていると思う市民の割合
		イ	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	768	768	768	768		
	事業費計(A)	千円	768	768	768	768			
活動指標		ア	回	24	24	24	24		
		イ	人	144	144	144	144		
		ウ							
対象指標		ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
		イ							
		ウ							
成果指標		ア	人	138	140	138	144		
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア	%	24.6	38.8	46.2	45.0		
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
弁護士のない当市域で、それまで行っていた悩みごと相談では適切に助言できない法律上のトラブルに対応するため、相談会場・費用を市が負担して弁護士による相談を受けられるように、平成12年から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
法律に関する相談を求める声が高まり、日本法律支援センターが「法テラス」を開設した。 法律相談1回当たりの利用可能者数には限りがあるが、合併等により利用申込数が増加した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
議会(本会議:一般質問)から相談回数を増やすことはできないかの質問が出された。(合併後二会場に増やした)	

事務事業名	無料法律相談事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	法律問題に悩む市民が弁護士による指導助言によりその問題の解決策や方向を見出すことは、市では対応できない法律相談に無料で対応できることになるので、効果的・効率的な行政サービスの提供に結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	市民が市に解決策を求めて相談するなかで、市では対応できない法律問題もあり、法律問題に悩む市民が弁護士による指導助言によりその問題の解決策や方向を見出せることは適切な市の業務遂行につながり、効果的・効率的な行政サービスの提供に結びつく。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	法律問題に悩んでいる市民でなければ弁護士に相談する必要は無いため、対象の見直し余地は無い。法律相談で問題を解決する糸口(方策・方向)を見出すことは、複雑多様化する社会の中で、市民が安心して暮らせることにつながるため、意図は現状で適切である。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	予約はほぼ100パーセントのため、予約者数以上の利用希望者がいると思われる。予約者数以上の利用希望者にも対応できる体制をつくることにより、成果の向上ができる。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	法律に関する相談を求める声が高まる中で、法律問題に悩める市民の相談できる場を廃止・休止することは、行政サービスの低下につながる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	霧島市内において市民が無料で弁護士に法律相談できる類似事業は無い。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	毎月2回の相談日に派遣される弁護士を確保する必要があるが、鹿児島県弁護士会に業務を委託しているため、事業費の削減の余地は無い。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか? (アウトソーシングなど)	本事業についての電話による問合せ対応や、業務委託費用の支払事務が主な業務である。業務時間としてはわずかであり、削減余地はない。 なお、予約受付や当日対応については、委託先である鹿児島県弁護士会がすべて対応している。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	相談の予約受付は電話で行っているため、法律問題に悩んでいるすべての市民に等しく相談できる機会がある。 また、相談者の個人負担はないため、公平である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	予約はほぼ100パーセントのため、予約者数以上の利用希望者がいると思われる。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	< 改革改善案 > 予約者数以上の利用希望者にも対応するための体制がとれるか、検討する。																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										



事務事業名	自治会長宛文書発送事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 発送文書等を自治会長へ確実に配布することにより、自治会に加入している市民(世帯)が、市から提供される情報を迅速に取得することができ、効果的・効率的な行政サービスが提供できる。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市政に関する多様な情報を常日ごろから迅速に多くの市民へ提供するため、市が税金を投入することは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 市内のすべての自治会を対象として、文書発送を行っているため、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 発送する文書等について、各地区の自治会が要求する部数を確実に発送するために、準備段階から確実な数の把握が必要となる。毎回のように文書等の過不足に対する問い合わせがあるため、文書等を準備する担当課等の事務の現実性が要求とされている面では事務改善も含め成果向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 市民への情報を提供する機会を失うことになる。市内の各世帯へ直接郵送で文書を発送する方法もあるが、莫大な郵送料が必要となり、市民の市政への関心の低下及び予算の増大が懸念される。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他事務事業及び類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 市内4宅配業者と委託契約を結び、文書発送業務を行っているが、一戸あたりの配布単価も統一されていない。委託契約を一本化すれば事業費削減の余地が見込まれる。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 発送文書の袋詰めと宅配業者への引渡しが主な業務であるが、各庁舎・各総合支所において必要最小限の人員で業務を行っているため、人件費の削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 市内のすべての自治会を対象にしているため、公平である。市からのおしらせ文書などの発送なので、受益者負担はない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	毎回のように入文書等の過不足に対する問い合わせがある。市内4宅配業者と委託契約を結び、文書発送業務を行っているが、一戸あたりの配布単価も統一されていない。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 文書等を準備する担当課に、確実に必要枚数を欄に入れてもらう。 委託契約の一本化の検討。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																	

No.	110-280	事務事業名	職員表彰事務				所属部	総務部	
							所属課	総務課	
政策体系	政策名	0	7	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	宗像 成昭
	施策名	0	2	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	人事グループ
	基本事業名	0	2	効果的で効率的な組織・機構・業務の構築				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市職員の表彰に関する規程	
	一般	0	2	0	1	0			2

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
他の模範となる職員を表彰することにより、職員の勤労意欲を高める。 【表彰対象者】 勤続25年に到達した職員 勤続15年以上で退職した職員 その他優秀職員(勤務成績優秀者、市の行政事務運営上著しい功績があった者、その他特に他の模範となる行為があった者) 【表彰の方法】 表彰状の贈呈							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 54 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		ア	勤続25年に到達した職員の表彰式開催回数
		イ	勤続15年以上で退職した職員の表彰式開催回数
		ウ	その他優秀職員の表彰式開催回数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	アの職員数
		イ	イの職員数
		ウ	ウの職員数
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 ア 勤続25年に到達した職員 イ 勤続15年以上で退職した職員 ウ その他優秀職員		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	アの表彰者数
		イ	イの表彰者数
		ウ	ウの表彰者数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ア 勤続25年に到達した職員の功績をたたえることで、勤労意欲が高まる。 イ 勤続15年以上で退職した職員の功績をたたえることで、勤労意欲が高まる。 ウ その他優秀職員の功績をたたえることで、勤労意欲が高まる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	効果的・効率的なサービスが提供されていると思う市民の割合
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 効果的・効率的な行政サービスが提供できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	58	51	57	96	
		事業費計(A)	千円	58	51	57	96	
トータルコスト(A)+(B)		千円	58	51	57	96		
活動指標	ア	回	1	1	1	1		
	イ	回	7	4	5	4		
	ウ	回	0	0	1	0		
対象指標	ア	人	44	24	63	23		
	イ	人	41	66	59	37		
	ウ	人	0	0	1	0		
成果指標	ア	人	44	24	63	23		
	イ	人	41	66	59	37		
	ウ	人	0	0	1	0		
上位成果指標	ア	%	24.6	38.8	46.2	45.0		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 市勢進展に貢献した職員の功績をたたえるため、昭和54年から旧国分市で開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	職員表彰事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 市勢進展に貢献した職員の功績をたたえることは、職員の勤労意欲を高めることになり、結果として効果的・効率的な行政サービスの提供に結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 職員の勤労意欲の高揚と公務能率の向上を図るために必要な事業である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 勤続25年に到達した職員は、退職時にも表彰されることになるため、対象を勤続15年以上で退職した職員とその他優秀職員(勤務成績優秀者、市の行政事務運営上著しい功績があった者、その他特に他の模範となる行為があった者)に限定するなど見直す必要がある。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 規程により対象者が限定されているため、成果向上の余地がない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 廃止・休止した場合に職員の勤労意欲と公務能率の低下が懸念される。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 職員を表彰する類似事業はないため。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事業費は全て賞状、額縁、手提袋の購入費である。表彰を行うための必要最低限の準備品であると考えられるため削減の余地がない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ パソコンで賞状作成を行うなど効率化を図っており、削減の余地はない。また、委託を行うほどの業務量はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 全職員を対象にした事業であり公平・公正である。また、表彰を受ける者に費用負担を求めるのは適当ではない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市勢進展に貢献した職員の功績をたたえることは、職員の勤労意欲を高めることに繋がる。なお、対象を限定することによる影響は少ないものと思われる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	< 改革改善案 > 勤続25年に到達した職員は退職時にも表彰されることになり重複するため、対象は勤続15年以上で退職した職員とその他優秀職員(勤務成績優秀者、市の行政事務運営上著しい功績があった者、その他特に他の模範となる行為があった者)に限定すべきである。																					
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし。
---

No.	110-300	事務事業名	臨時職員雇用管理事務				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	宗像 成昭
	施策名	02	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	人事グループ
	基本事業名	02	効果的で効率的な組織・機構・業務の構築				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 健康保険法・厚生年金保険法・労働基準法・雇用保険法・労働災害補償保険法・所得税法	
	一般	02	01	01	10006	人件費(臨職共済費)		
	一般	02	01	02	11010	職員福利厚生費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
臨時職員を雇用した際、社会保険及び雇用保険の適用を受ける勤務体系がどうかを判断し、適用される場合は、その各種社会保障の資格取得手続きを行う。 社会保険及び雇用保険に係る各給付手続きを行う。 退職の際は、それぞれ資格喪失の手続きを行う。 所得税の年末調整を実施する。 賃金や有給休暇、社会保障等に関する労働条件の整備を行う。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 60 年代 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 社会保険事務処理件数	件
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 労働保険事務処理件数	件
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	臨時職員	ウ 年末調整処理人数	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	労働条件が整備され、各種手続きが間違いなく行われる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	効果的・効率的な行政サービスが提供できる。	名称	単位
		ア 臨時職員の数	人
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 手続きその他で間違いや不備があった件数	件
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 効果的・効率的なサービスが提供されていると思う市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	75,066	70,621	74,404	72,301		
	事業費計(A)	千円	75,066	70,621	74,404	72,301			
活動指標	ア	件	361	538	411	440			
	イ	件	226	179	160	180			
	ウ	人	282	290	255	250			
対象指標	ア	人	374	549	480	450			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	件	0	0	0	0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	24.6	38.8	46.2	45.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和60年代から旧各市町が社会保険法、厚生年金保険法、労働基準法、所得税法などにに基づき執行している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
事業の多様化や正規職員の減少に伴い、臨時職員の業務負担や必要性も増えているが、財政的な面からは市の賃金や保険料の予算削減のために臨時職員の数や勤務時間の減少を迫られている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
勤務日数の制限(月17日以下勤務)の解除を望む臨時職員もいる。一方で逆に勤務日数を減らし、社会保険適用除外(配偶者の被扶養)を望む臨時職員もいる。待遇についても改善要望が出ている。	

事務事業名	臨時職員雇用管理事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似する事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	法等の定めにより、一定の雇用要件を満たす臨時職員への社会保険等の適用には見直し余地はないが、臨時職員の配置方法の検討や各保険の手続きを一元化するシステムの構築で、業務時間の削減が期待できる。																		
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 臨時職員の個人情報・月々の支払い賃金・保険料等を一度入力するだけで、「社会保険料算定」「社会保険料改定資料」「労働保険算定」「所得税年末調整」までを一括管理するシステムを開発・導入する。																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 システム開発及び年間保守委託料の予算計上が必要。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		



No.	110-360	事務事業名	セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント相談事業					所属部	総務部
								所属課	総務課
政策体系	政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり					課長名	宗像 成昭
	施策名	02	信頼される行政経営の推進					所属G(係)	人事グループ
	基本事業名	03	人材育成の推進					電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保に関する法律	
	一般	02	01	02	11090	人事管理費			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
職員が周りを気にせずにセクシュアルハラスメント、パワーハラスメントの相談ができる外部機関を設置する。 悩みのある職員は電話で相談をする。相談内容をフィードバックする範囲は相談者が決める。 外部機関より月々の実績報告がある。 市は希望のフィードバック範囲に応じて対応する。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 20 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (          年度 ~          年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 周知回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	全職員(正規・臨時職員)	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 正規職員数	人
		イ 臨時職員数	人
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントについて相談してもらう。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア この事業について知っている職員の割合	%
		イ 必要な時にこの事業を使い相談してみたいと思う職員の割合	%
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	働きやすい環境が整う	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 安心して働ける環境整備ができていると思う職員の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円			378	378		
	事業費計(A)	千円			378	378			
活動指標	ア	回			12	20			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人			1,324	1,268			
	イ	人			589	589			
	ウ								
成果指標	ア	%			未把握	未把握			
	イ	%							
	ウ								
上位成果指標	ア	%		65.2	64.8	66.5			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
職場に相談員を3名置いていたが、相談しやすい環境を整えようと平成20年度から外部相談機関を設置した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
セクシュアルハラスメント、パワーハラスメントという言葉が浸透してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント相談事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 男女共同参画推進グループの事業	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本事業について、周りを気にすることなくいつでも相談できるものであることを、職員へ十分周知する必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
<改革改善案> 一度詳細な事業の流れ(相談がどのようにして職場へフィードバックされるまで)を職員へ通知することで利用しやすくなると思われる。 電話だけでなくメールによる相談ができれば、より相談しやすくなるのではないかと。																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								

No.	110-380	事務事業名	全国市長会・町村会等共済事務	所 属 部	総務部
政策体系	政策名	0 7	新たな行政経営によるまちづくり	所 属 課	総務課
	施策名	0 2	信頼される行政経営の推進	課 長 名	宗像成昭
	基本事業名	0 3	人材育成の推進	所 属 G (係)	人事G
				電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 2	0 1	0 2	11010	職員福利厚生費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
全国市長会・全国都市職員災害共済会・全国町村会が全国職員の福利厚生を資することを目的に実施している任意共済・個人年金・火災共済・自動車共済に加入。全国市長会の任意共済・個人年金、全国都市職員災害共済の火災共済・自動車共済、町村会の任意共済・個人年金・火災共済・自動車共済の事務手続きを行う。 加入・更新・変更・脱退・給付金申請の手続き。 掛金の給与控除データ作成または現金徴収並びに振り込み、 配当金・出資金等の払戻作業。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( ) 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ) 年度 ~ ) 年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 各種申請書件数	件
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 払戻件数	件
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	全職員のうち加入者	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適正な給付金等を受給できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	働きやすい環境が整う。	名称	単位
		ア 加入者数(のべ数)	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 適正な給付ができなかった加入者数	人
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 安心して働ける環境整備ができると思う職員の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	88	58	61	17		
	事業費計(A)	千円	88	58	61	17			
活動指標	ア	件	948	945	940	940			
	イ	件	359	392	396	396			
	ウ								
対象指標	ア	人	809	766	732	732			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人	0	0	0	0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	未把握	65.2	64.8	66.5			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
全国市長会・全国都市職員災害共済会・町村会が実施している福利厚生事業に加入。任意共済、個人年金、火災共済、自動車共済とも施行年月日は違っており、いつの時期に加入したかは不明である。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
旧市では全国市長会の共済と全国都市職員災害共済に加入し、旧町では町村会の共済に加入していた。合併により全国市長会等と町村会の種々共済事業が混在している。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし

事務事業名	全国市長会・町村会等共済事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	各種共済等に参加し、万一の時に適正な給付金等を受給できることにより、安心して働くことができるため、働きやすい環境が整うことに結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	全国市長会・町村会等が全国職員の福利厚生に資することを目的に実施しているものであり、この事業を行うことにより職員の生活の安定と福祉の向上に繋がる。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	働きやすい環境を整備するという観点から対象・意図は妥当である。
効果 性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	適正な給付ができるよう全国市長会・町村会と連携をとりながら事務を行っている。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
効率 性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	廃止・休止した場合、現在加入中の職員は民間の保険会社や自治労の保険に加入することになり、同じ保険料で内容が悪くなる。または加入できない場合も出てくるという点で職員の福利厚生の低下になる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
公平 性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費として見ているものが研修費のみのため、削減余地はない。
公平 性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	加入・更新・変更・脱退・給付金申請の手続事務、掛金の徴収事務(給与控除データ作成・現金徴収・振込)、配当金・出資金等の払戻事務が主な業務である。すべて全国市長会や全国町村会等で決められた事務の流れで行っているものなので、削減余地はない。
公平 性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘
公平 性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	全職員が加入でき、加入者は応分の掛け金を支払うので、受益機会、費用負担ともに公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後とも、適正に事務を行っていく。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	< 改革改善案 >																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										

No.	110-420	事務事業名	職員健康相談事業				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	0 7	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	宗像 成昭
	施策名	0 2	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	人事G
	基本事業名	0 3	人材育成の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 地方公務員法・労働安全衛生法・霧島市職員安全衛生管理規程	
	一般	0 2	0 1	0 2	11010	職員福利厚生費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
定例の職員健康相談(本庁総務課主管):毎月1回、保健師(職員)と精神保健福祉士(報償費対応)が血圧・体脂肪率測定などを含む体に関する相談とメンタルヘルス相談を実施。 随時の健康相談:必要に応じ、各庁舎・各総合支所の産業医又は衛生管理者が随時、相談に対応。 職員健診・人間ドック後の健康相談:衛生管理者・栄養士・産業医が健診結果に伴う健康相談を実施。 長時間労働者への面接指導:保健師(職員)が面接を行い、希望により産業医との面接を実施。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 51 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	健康相談実施回数
			回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	延べ利用者数
前年度と同様			人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
職員		名称	
		単位	
		ア	職員数
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
心身の健康が保持増進する。		名称	
		単位	
		ア	健康相談事業が心身の健康の保持増進に役立っていると感じている職員の割合
			%
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
働きやすい環境が整う。		名称	
		単位	
		ア	安心して働ける環境整備ができていると思う職員の割合
			%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	453	320	802	843	
	事業費計(A)	千円	453	320	802	843		
活動指標		ア	回	276	40	40	46	
		イ	人	383	803	675	700	
対象指標		ア	人	1,407	1,372	1,309	1,267	
成果指標		ア	%	未把握	60.0	59.9	62.0	
上位成果指標		ア	%	未把握	65.2	64.8	66.5	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和51年頃に保健師が採用になってから、職員の健康管理の一環として開始された。 長時間労働者の面接指導は、労働安全衛生法改正(H18.4改正)に基き、平成18年度に開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
地方公務員の長期病休休暇者のうち、「精神及び行動の障害」(うつ病、自律神経失調症など)の割合が全国的に増えている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
安全衛生委員会で、外部委託によるメンタル相談事業を実施してもいいのではないかと意見があった。	

事務事業名	職員健康相談事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	成果指標の数値が職員健康診断事業と較べると低い。職員に役立つ健康相談の体制づくりが必要である。また、精神保健福祉士による相談場所が国分庁舎のみであるため、受益機会に偏りがあるので、見直しの必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)															
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	期待成果マトリックス: <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">向上</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	向上	維持			低下		
		コスト														
		削減	維持													
向上	維持															
	低下															

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 本庁国分庁舎には相談室がなく、事業の拠点が無い。相談室として利用しやすい場所を確保し事業を活性化し、職員の関心を高めて、利用者数をふやしていきたい。

No.	110-430	事務事業名	市職員人間ドック事務				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	0 7	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	宗像 成昭
	施策名	0 2	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	人事G
	基本事業名	0 3	人材育成の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 地方公務員法第42条	
	一般							

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市町村職員共済組合加入者の人間ドック助成事務。  (事務の流れ) 人間ドックの希望調査実施(1日・2日・節目・脳・配偶者)。共済組合より受診者の決定。希望者への通知。医療機関からの関係書類など配布。受診後の結果のデータ入力。事後指導希望者への個別指導。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 43 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 人間ドック受診者数(1日・2日・節目・脳・配偶者ドック)	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市町村職員共済組合員	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	心身の健康が保持増進する。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	働きやすい環境が整う。	ア	市町村職員共済組合員数
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア	群馬市人間ドック事業が心身の健康の保持増進に役立っていると感じている職員の割合
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア	安心して働ける環境整備ができていると思う職員の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円							
	事業費計(A)	千円	0	0	0	0			
人件費	正規職員従事人数	人							
	延べ業務時間	時間							
	人件費計(B)	千円	0	0	0	0			
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	0	0			
活動指標	ア	人	456	472	575	526			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	1,271	1,235	1,238	1,153			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	未把握	87.4	88.1	89.0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	未把握	65.2	64.8	66.5			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 市町村職員共済組合より、助成制度が始まったことを受けて昭和43年から開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化はない。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 事業対象者(市町村職員共済組合員)から、ドック受診を希望しても全員は受診できないため、希望者全員が受診できるようにならないか、といった意見を聞くことがある。	

事務事業名	市職員人間ドック事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 人間ドック事務を行い、職員の心身の健康が保持増進することは、働きやすい環境が整うことに結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 地方公務員法第42条に基き、事業主が行う義務があるため。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 働きやすい環境を整備するという観点から、対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 人間ドック後の要指導者への指導や、要精密者への追跡等を徹底することで、成果を向上させる余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 自己の健康状態を詳しく診てもらえる機会が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 職員健康診断事業、職員健康相談事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 職員健康診断の事後指導や職員健康相談の場を人間ドックの事後指導に利用することで、成果の向上が期待できる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 事務として特に事業費がかかるものではない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 人間ドックの事前処理の事務量が多いが、業務の電算処理をさらに進めることにより、多少の改善は可能と思われる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 全職員を対象としているが、ドックを受診できる数に制限があり、受益機会は公平とはいえない。受益者負担は、受診する病院によって差があるが、助成金額は公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	人間ドックの事前処理の事務量が多く、肝心の事後指導にかかる時間が少なかった。ドック後の要指導者への指導や、要精密者への追跡等を徹底するとともに、職員健康診断と連携することにより、成果を向上させる必要がある。全職員を対象としているが、ドックを受診できる数に制限があり、受益機会は公平とはいえない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
<改革改善案> 事務量の軽減 今までの電算処理に加えてデータベースソフト(マイクロソフト アクセス)などを利用し、事務処理を行う。 成果向上のための取組み 職員健診の事後指導や定期職員健康相談の場をドックの事後指導に利用する。 受益機会について 受診枠については、共済組合との協議が必要。																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 相談の場を積極的に利用する職員が少ない。職員の要望を取り入れた相談体制づくりをすすめる。
--



No.	110-440	事務 事業名	職員互助会運営支援事業				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策 体系	政策名	0 7	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	宗像 成昭
	施策名	0 2	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	人事G
	基本事業名	0 3	人材育成の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	地方公務員法、霧島市職員互助会設置に関する 条例
	一般	0 2	0 1	0 2	11015	職員互助会助成金		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島市職員互助会は、霧島市条例第57号「霧島市職員互助会設置に関する条例」に基づき、市職員の保健、元気回復及びその他福利厚生を目的として設立している。会は市長以下、全職員で構成し、職員から選出した評議員の意見を聞きながら、目的に寄与する事業を計画・実施する。互助会費と市からの補助金で運営がなされている。事業は事務局の総務課職員と互助会で雇用した3名の書記を中心として推進し、各種給付事業・ボランティア活動・体育文化奨励事業・人間ドック助成事業・レクリエーション事業、各種団体保険加入事務、各種チケット販売・売店経営・各種イベント参加などを実施している。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 30 年代 ~ )	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア 給付金の受給者数	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ レクリエーション大会参加人数	
前年度と同様		ウ 人間ドック助成金受給者数	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
互助会会員		名称	
<補助金交付先>霧島市職員互助会		単位	
<補助金対象活動>霧島市職員互助会の運営及び職員厚生に要する経費(人間ドック助成、ボランティア活動助成)		ア 互助会会員数	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
心身の健康が保持増進する。		名称	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		単位	
働きやすい環境が整う。		ア 福利厚生事業が心身の健康の保持増進に役立っていると感じている会員の割合	
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 安心して働ける環境整備ができていると思う職員の割合	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入 量	事業 費	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	6,782	5,636	5,903	5,944	
事業費計(A)		千円	6,782	5,636	5,903	5,944		
活動指標		ア 人	154	145	142	150		
		イ 人	988	950	1,022	1,000		
		ウ 人	442	502	511	520		
対象指標		ア 人	1,339	1,300	1,229	1,200		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア %	未把握	84.0	83.8	89.0		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア %	未把握	65.2	64.8	66.5		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
旧各市町は昭和30年代から40年代にかけて、地方公務員法第42条により福利厚生事業を実施する上で互助会を設置し、現在に至る。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併前に各市町で実施していた給付事業の多くは、合併時に見直し、廃止や削減を行った。また、互助会等に対する自治体の補助金については、全国的に市民やマスコミなどから厳しい目で見られている。霧島市職員互助会への補助金も減額及び用途を限定するなど見直しを行っている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	職員互助会運営支援事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 福利厚生を機会を増やし、心身の健康が保持増進することは、働きやすい環境が整うことに結びつく。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 地方公務員法第42条に基づき、事業主が行う義務があるため。 「地方公共団体は、職員の保健、元気回復、その他の厚生事業を実施しなければならない」			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 職員が働きやすい環境を整備するという観点から、対象・意図ともに妥当である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 会員の多様化するニーズに応じて、活動内容を見直すことで成果を向上させる余地がある。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 会員が受けられる福利厚生機会が減る。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 人間ドックの受益者負担と市の職員検診の内容・経費との整合性を検討することで事業費削減の可能性がある。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 書記を新たに雇用し、現在総務課職員が行っている事務を任せる。また、アウトソーシングでの互助会運営の委託も考えられる。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 会員全てを対象としているため、受益機会は公平であるが、人間ドック助成事業においては受益者負担割合を見直し余地がある。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	法等の定めにより、福利厚生事業をやめることはできないが、会の目的に沿った会員ニーズに対応し、受益者負担の適正化も考慮しながら事業全体を再検討する。また、現在総務課職員が行っている事務を互助会雇用の書記に任せられないか、検討の余地がある。																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<改革改善案> 事業内容の割に総体事業費が大きいので、事業内容を見直すか、市の補助金のあり方・会員からの個人負担金のあり方などを再検討する。また、事務局書記を新たに1名雇用し、現在正規職員が行っている事務を担当させることができないか検討する。																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>▲</td> <td>▲</td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲	▲	▲
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			▲																						
	低下	▲	▲	▲																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	110-450	事務事業名	一般職員研修事務				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	宗像 成昭
	施策名	02	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	総務研修グループ
	基本事業名	03	人材育成の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 地方公務員法39条	
	一般	02	01	03	12010	職員研修費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
一般職員(係長級未満の職員。ただし、消防吏員・県派遣の教育公務員は除く)に対して、実務に必要な知識や能力を身につけるための研修を実施する。 庁内で実施する研修(事務内容:研修企画、業者<外部講師>選定、会場予約・設営、委託契約締結・支払い、研修テキスト印刷、アンケート調査・集計、研修履歴管理) 鹿児島県市町村研修センター、市町村アカデミー、国際文化アカデミーへ職員を派遣して、他市町村職員と合同で受講させる研修(事務内容:関係文書受発、出張旅費支出、レポート管理、研修履歴管理)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 25 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		
手段(主な活動)		名称		
20年度実績(20年度に行った主な活動) ( 庁内で実施する研修)クレーム対応研修、交渉力向上研修、問題解決手法研修、プレゼンテーション研修、メンタルヘルス研修、法制執務研修、パソコン研修、新規採用職員研修( 派遣研修)自治大学校、鹿児島県市町村研修センター、市町村アカデミー、国際文化アカデミー 21年度計画(21年度に計画している主な活動) メンタルヘルス研修、クレーム対応研修、不当要求対応研修、パソコン研修など。各種研修機関への派遣。		ア 庁内研修会の開催数 イ 庁内研修受講者数 ウ 派遣職員数	単位 回 人 人	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 一般職員		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 一般職員数 イ ウ		単位 人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 実務に必要な知識や能力が身につく。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 実務に必要な知識や能力が身についたと思う職員の割合 イ ウ		単位 %
結果(どんな結果に結び付けるのか) 行政ニーズに的確かつ柔軟に対応できる職員が育成される。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 職員が市民の立場にたった対応を行っていると思う市民の割合 イ ウ		単位 %

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	6,779	4,732	5,866	6,525		
事業費計(A)		千円	6,779	4,732	5,866	6,525			
活動指標		ア 回	6	7	8	7			
		イ 人	459	287	324	360			
		ウ 人	348	266	270	200			
対象指標		ア 人	752	740	710	700			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア %	未把握	80.9	82.4	86.0			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア %	33.5	32.8	38.1	41.0			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和25年の地方公務員法制定以降に開始されたと推測されるが、詳細な開始時期は不明である。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 組織の編成や事務事業の見直しなどを含めた職員の定員適正化を進める中、限られた人材で最大の効果をあげられる組織を構築するため、人材育成の重要性が高まっている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	一般職員研修事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 管理監督者職員研修 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	研修の効果測定の調査・研究や、研修受講への動機づけを高めるための事前課題の拡充を図る必要がある。 また、委託業者の情報収集に努める必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 有効な研修効果測定の研究、実施。 事前課題など研修への動機づけを高める方策の検討。 自治研修センター、各種研修機関(市町村アカデミー、国際文化アカデミー)及び他市町との情報交換を密にし、委託業者の情報収集に努める。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 受講者のモチベーションを高めるための、効果的な事前課題やアンケートの作成について研究する必要がある。																						

No.	110-460	事務事業名	職員派遣研修事務				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	宗像 成昭
	施策名	02	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	総務研修G
	基本事業名	03	人材育成の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 地方公務員法第39条	
	一般	02	01	03	12010	職員研修事務		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
<p>実務を通じて先進的な行政手法を学び、幅広い視野を養成することを目的に、国県等の行政機関や財団法人等へ職員を派遣し、職員の資質向上を図る。派遣期間は、1年から2年程度。</p> <p>【主な派遣先】全国市長会、鹿児島県(市町村課、観光課)、鹿児島県後期高齢者医療広域連合、財団法人鹿児島県文化振興財団(上野原縄文の森、霧島国際音楽ホール)、財団法人かごしま産業支援センター(鹿児島県人材育成センター、上野原ビジネスプラザ)</p> <p>【事務内容】派遣職員の選定、派遣先への申請書進達、派遣職員用宿舎の契約・家賃支払い</p>						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( S 35 年度 ~ )</span> <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( 年度 ~ 年度 )</span>	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
<p>手段(主な活動)</p> <p>20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様。〔その他派遣先〕農林水産省、総務省、鹿児島県(かごしま遊楽館、建築課、始良・伊佐地域振興局土木建築課)、海津市、社会福祉協議会</p> <p>21年度計画(21年度に計画している主な活動) 事務事業の概要と同様。〔その他派遣先〕総務省、海津市、都城市</p> <p>対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 職員</p> <p>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 先進的な行政手法や幅広い視野を身につける。</p> <p>結果(どんな結果に結び付けるのか) 行政ニーズに的確かつ柔軟に対応できる。</p>		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 派遣先数</td> <td>機関</td> </tr> <tr> <td>イ 派遣職員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 職員数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 先進的な行政手法や幅広い視野を身につけることができたと思う派遣職員の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 職員が市民の立場にたった対応を行っていると思う市民の割合</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	ア 派遣先数	機関	イ 派遣職員数	人	ウ		対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 職員数	人	イ		ウ		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 先進的な行政手法や幅広い視野を身につけることができたと思う派遣職員の割合	%	イ		ウ		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 職員が市民の立場にたった対応を行っていると思う市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位																																								
ア 派遣先数	機関																																								
イ 派遣職員数	人																																								
ウ																																									
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 職員数	人																																								
イ																																									
ウ																																									
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 先進的な行政手法や幅広い視野を身につけることができたと思う派遣職員の割合	%																																								
イ																																									
ウ																																									
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 職員が市民の立場にたった対応を行っていると思う市民の割合	%																																								
イ																																									
ウ																																									

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	5,023	6,147	12,067	14,757		
	事業費計(A)	千円	5,023	6,147	12,067	14,757			
活動指標	ア	機関	8	12	15	11			
	イ	人	9	13	16	11			
	ウ								
対象指標	ア	人	1,167	1,126	1,062	1,008			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	%	未把握	未把握	100.0	100.0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	33.5	32.8	38.1	41.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
鹿児島県庁派遣:昭和35年から開始。全国市長会派遣:昭和44年から開始。財団法人派遣、後期高齢者医療広域連合:各財団、連合の設立に併せて派遣を開始。かごしま遊楽館、県観光課派遣:観光行政の強化を目的に平成18年度から開始。農林水産省、社会福祉協議会派遣:平成19年度から開始。総務省派遣:平成20年度から開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
職員の定員適正化が進むにつれ、各部・課に配置される職員数を減少させざるを得ない。そのため、職員一人ひとりが能力を高め、その能力を十分に発揮することが求められている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	職員派遣研修事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	受益機会の公平性の観点から、派遣職員の選定方法について、見直しの余地がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 派遣研修に意欲のある職員を把握する方法として、庁内公募制の活用と自己申告制度の導入が考えられる。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 庁内公募を行ったが派遣研修を希望する職員がいない時、従来どおりの指名及び推薦による選定方法となり、派遣職員のモチベーション低下に繋がらないか懸念される。																						

No.	110-470	事務事業名	自己啓発研修助成事業				所属部	総務部		
							所属課	総務課		
政策体系	政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	宗像 成昭		
	施策名	02	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	総務研修G		
	基本事業名	03	人材育成の推進				電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般	02	01	03	12010	事業名	職員研修費	法令根拠	地方公務員法第39条
	款									

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
市政に関する知識、技能を自発的に習得しようとする職員(ただし、消防吏員・県派遣の教育公務員は除く)に対し、経費を助成し、自己啓発の高揚と能力開発を促す。 【市の活動】職員に補助金を支出するための手続き(助成申請に対する審査、助成決定、補助金交付)を行う。 【職員の活動】自己啓発のため専門通信機関等を利用して行う自己研修。 【助成額】申請者の掌る業務について適当と認める研修等・・・2万円以内 通信教育等での学習・・・1万円以内 助成の回数は、職員一人につき原則として年一回とする。 【助成対象経費】研修に係る交通費、宿泊料、受講料、図書等資料の購入費等							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (           年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (           年度 ~           年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 自己啓発助成件数	件
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	昨年度と同様	イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	昨年度と同様	ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
職員		名称	単位
<補助金交付先> 職員		ア 職員数	数
<補助対象活動> 市政に関する知識、技能を自主的に習得するための活動		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	自己啓発に取り組みやすくなる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 自己啓発助成件数	件
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	行政ニーズに的確かつ柔軟に対応できる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 職員が市民の立場にたった対応を行っていると思う市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	101	20	57	100	
事業費計(A)	千円	101	20	57	100			
活動指標	ア 件		8	1	4	10		
活動指標	イ							
活動指標	ウ							
対象指標	ア 数		1,167	1,126	1,062	1,008		
対象指標	イ							
対象指標	ウ							
成果指標	ア 件		8	1	4	10		
成果指標	イ							
成果指標	ウ							
上位成果指標	ア %		33.5	32.8	38.1	41.0		
上位成果指標	イ							
上位成果指標	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
合併前は、旧国分市で事業が行われていたが、開始時期の詳細については不明である。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
職員の資質向上が強く求められている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	自己啓発研修助成事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	助成対象の項目を明確化することで、自己啓発に取組みやすくなり、成果向上が図られる。また、対象経費の見直しや補助率を設定することにより、事業費の削減や受益者負担の公平が図られる。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																	
助成対象の研修項目が漠然としていることから、早急な見直しが求められている。他市町の制度について調査し、自己啓発に取り組みやすい環境の整備を図る。																	



No.	110-480	事務事業名	管理監督者職員研修事務				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	宗像 成昭
	施策名	02	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	総務研修グループ
	基本事業名	03	人材育成の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	03	12010	職員研修費		
							地方公務員法第39条	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
管理監督者(係長級以上の職員。ただし、消防吏員・県派遣の教育公務員は除く)に対して、職場や職員の状況を的確に把握し、管理する能力や人材を育成・指導する能力を向上させるための研修を実施する。 庁内で実施する研修(事務内容:研修企画、業者<外部講師>選定、会場予約・設営、委託契約締結・支払い、研修テキスト印刷、アンケート調査・集計、研修履歴管理) 鹿児島県市町村研修センターへ職員を派遣して、他市町村職員と合同で受講させる研修(事務内容:関係文書受発、出張旅費支出、レポート管理、研修履歴管理)						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 25 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
(庁内で実施する研修) コーチング研修、メンタルヘルス研修、人権研修、人事評価研修 (派遣研修機関) 自治研修センター、市町村アカデミー、国際文化アカデミー。		ア	庁内研修会の開催数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	庁内研修受講者数
(庁内で実施する研修) コーチング研修、マネジメント研修。 (派遣研修機関) 20年度と同じ		ウ	派遣職員数
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
管理監督者		名称	
		単位	
		ア	管理監督者数
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
効果的な職場管理及び部下育成がなされる。		名称	
		単位	
		ア	効果的な職場管理及び部下育成ができたと感じた管理監督者の割合
		イ	%
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
行政ニーズに的確かつ柔軟に対応できる職員が育成される。		名称	
		単位	
		ア	職員が市民の立場にたった対応を行っていると思う市民の割合
		イ	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,092	1,166	1,763	1,098	
事業費計(A)		千円	2,092	1,166	1,763	1,098		
活動指標		ア	回	4	4	4	4	
		イ	人	709	250	451	380	
		ウ	人	63	21	54	30	
対象指標		ア	人	415	386	352	308	
		イ						
		ウ						
成果指標		ア	%	未把握	75.5	79.8	81.0	
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	%	33.5	32.8	38.1	41.0	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和25年の地方公務員法制定以降に開始されたと推測されるが、詳細な開始時期は不明である。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
職員の定員適正化が進むにつれ、各部・課に配置される職員数を減少させざるを得ない。そのため、職員一人ひとりが能力を十分に発揮できるよう管理監督者が部下育成・指導能力を向上させることが求められている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	管理監督者職員研修事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) 一般職員研修事務 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	研修の効果測定を行い、その結果を活用することで、成果を向上させる余地がある。また、事前課題・アンケート実施を拡充することで、研修自体の効果が高めることができる。 委託業者の情報収集に努めることで事業費の削減余地がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 市独自で企画する研修について、研修受講前に実施する事前課題・アンケートを全研修に拡充する。また、研修終了後、1~2ヵ月後に研修の効果測定を実施し、その結果に基づいた研修メニューの研究を行う。 県市町村研修センター、各種研修機関(市町村アカデミー、国際文化アカデミー)及び他市町との情報交換を密にし、委託業者の情報収集に努める。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 研修へのモチベーションを促すため、受講者のモチベーションを高める効果的な事前課題やアンケートの作成について、研究する必要がある。																						

No.	110-530	事務事業名	文書保存事務				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	07	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	宗像成昭
	施策名	02	信頼される行政経営の推進				所属G(係)	文書法制グループ
	基本事業名	04	行政運営の透明性の確保				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 市長が保有する行政文書の管理に関する規則 霧島市行政文書管理規程	
	一般	02	01	04	13015	法制関係費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
<p>情報の有効利用や情報処理の効率化のため、市の保有している行政文書を適正に整理・保存・廃棄する事務。これを効果的に行うために、ファイリングシステムを活用する。ファイリングシステムとは、文書を必要に応じ即時に利用できるように、組織的に整理保管し、保存期間の過ぎたものは廃棄する一連の制度をいう。文書を種類ごとに分類してフォルダ(書類入れ)にファイリングし、さらに大きな分類ごとに箱に入れて保管する。これらを管理するために、分類名・保存場所・保存年限・廃棄日が一目で分かる「ファイル基準表」を作成し、常備しておく。職員に対しては、ファイリングシステムを運用するためのファイリングマニュアルを整備し、制度の周知徹底を行う。</p>						<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
						<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ )	
						<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
平成18年度発生文書のファイル基準表を取りまとめ、閲覧に供した。ファイリング用品の購入、配布を行った。		ア 購入配布したフォルダ数	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ 購入配布したボックス数	
事務事業の概要と同様		ウ 購入配布した保存箱数	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市の保有する行政文書		名称	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		単位	
適正に(=整理・保管・不要文書の廃棄など体系的に行う)管理され、行政文書の利便性が向上する。		ア ファイル基準表の細分類の数	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		イ	
行政の活動内容が明らかになる		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア ファイル基準表を整備している課の数	
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 市民に必要な情報提供がなされていると思う市民の割合	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	3,146	1,933	4,248	2,675		
事業費計(A)		千円	3,146	1,933	4,248	2,675			
活動指標		ア 個	25,480	16,135	36,000	20,000			
		イ 個	4,165	3,425	6,300	3,530			
		ウ 個	1,900	697	3,000	1,600			
対象指標		ア 件	6,482	2,694					
		イ							
		ウ							
成果指標		ア 課	38	23					
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア %	53.1	54.2	61.1	62.0			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
文書の整理及び情報公開に対応するため旧市町村でそれぞれ行っていたが、合併後から統一して行っている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
庁内ネットワークによる情報の共有化が進められると共に、国等による電子文書化が進められつつあり、紙ベースの文書が減りつつある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市民から、文書が整理されず、見苦しい、このような状態で市民の大事な情報が管理できるのかという意見がある。また、職員からは、フォルダ・ボックス・保存箱に貼るラベルを作るシステムを導入してほしい、エクセルで表をプリントアウトして切り貼りするのは効率が悪い、といった意見がある。	

事務事業名	文書保存事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	市民の大切な財産である行政文書を適正に管理し、情報公開にも対応することで、行政の活動内容が明らかになることから、政策体系との整合性は取れている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	市が保有する行政文書が対象であるから、公共関与は妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	のとおりこの事務事業は、政策体系との整合性も取れており、対象・意図ともに妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	定期的に、各課に対してファイル基準表整備に関する通知を行っているが、この通知が理解しにくいものであるため、ファイル基準表が各課に整備されない。各課がファイル基準表を確実に整備することで、成果が向上する。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	市が保有する行政文書が保管・保存・廃棄されず、通常業務に支障を及ぼし、市民の不利益に繋がる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 図書館の歴史的資料の収集業務	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	事業費は、ファイリング用品に係る支出のみである。ファイリング用品の購入数を減らすと、ファイル基準表を使った文書管理ができず成果が下がるため、事業費の削減余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	ファイリングシステムの電算化により、作業時間の短縮を行うことで、人件費削減の余地はある。	
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市民の財産である市が保有する行政文書を適正管理することは、市民全体の利益に繋がるため、受益機会・費用負担ともに適正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	ファイル基準表による文書管理ができていない部署がある。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<改革改善案> 定期的に行うファイル基準表整備に関する通知を職員が理解しやすいものに改善していく。																								
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	各課の立場に立った、分かりやすい通知の仕方を検討する。
----------------------------------	-----------------------------

No.	110-590	事務事業名	国分溝辺特攻慰霊碑保存委員会運営事業				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	政策体系外				課長名	宗像成昭	
	施策名					所属G(係)	総務研修グループ	
	基本事業名					電話番号	45-5111	
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	01	10090	総務一般管理費		
国分溝辺特攻慰霊碑保存委員会会則								

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
太平洋戦争中、特攻隊員として国分と溝辺の特攻基地から飛び立ち、427名の方が命を落とされた。先人を慰霊し、世界平和を祈念する目的で特攻慰霊碑が建立されている。これを保存するために組織された「国分溝辺特攻慰霊碑保存委員会」に補助金を交付し、特攻隊員戦没者慰霊祭を開催する。また、溝辺上床公園にある資料・遺影展示の管理を行う。 国分溝辺特攻慰霊碑保存委員会は、国分及び溝辺連合会会長・自衛隊関係者・市関係者など11名で組織。霧島市総務課が事務局。特攻隊員戦没者慰霊祭の企画などについて協議を行い、慰霊祭を開催する。 特攻隊員戦没者慰霊祭は、毎年4月22日、午前が国分駐屯地前の特攻碑公園(国分会場)、午後が上床公園(溝辺会場)で開催。特攻隊員戦没者遺族・特攻隊員生存者・戦時中の飛行隊関係者・各種団体の長・議員などに案内を出し、参列いただいている。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 39 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 参列者数(国分会場)	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 参列者数(溝辺会場)	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	特攻隊員戦没者遺族・特攻隊員生存者・戦時中の飛行隊関係者・各種団体の長・議員などの案内者	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	特攻隊員戦没者を諸事滞りなく慰霊できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		名称	単位
		ア 案内者数	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 特攻隊員戦没者慰霊祭に関しての苦情・要望件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	188	188	178	160			
	事業費計(A)	千円	188	188	178	160			
活動指標		ア 人	204	180	211	194			
		イ 人	84	82	107	80			
		ウ							
対象指標		ア 人	600	578	647	619			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア 件	0	0	1	0			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア							
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
国分及び溝辺に、太平洋戦争中に特攻基地があり、多くの若者が命を落とした。このことを踏まえ、昭和39年から毎年慰霊祭を開催している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特攻隊員戦没者の遺族や特攻隊員の生存者、戦時中の飛行隊関係者といった、関係者の高齢化が進んでいる。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
国分会場での慰霊祭時に展示する特攻隊員戦没者の遺影について、慰霊祭時以外は倉庫に保管しているが、記念館を建設し、遺品その他関係資料と共に常設展示すべき、との意見が国分溝辺特攻慰霊碑保存委員会委員から出されている。	

事務事業名	国分溝辺特攻慰霊碑保存委員会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 戦没者追悼式 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか? (アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	これまでのところ、概ね諸事滞りなく特攻隊員を慰霊できていると思われるが、平成20年度は、受付の際、対応した職員の言動に不手際があったようだ。改善すべきは改善し、今後とも、遺族や関係者の思いと合致した慰霊祭を運営していく。 事業費や業務時間については、さらなる削減を行っていく必要がある。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
< 改革改善案 > 従事職員への業務説明の徹底(慰霊祭の趣旨や業務内容について、より詳細に説明し、従事職員による不手際がないようにする) 参列者区分の見直し(遺族・特攻隊員及び飛行隊関係者・来賓)以外の参列者を、これまで「一般参列者」としていたが、一般参列者という呼び方が「案内をもらっていない人、である」という誤解を与え、平成20年度の苦情の端緒となった。「一般参列者」を「招待者」とし、これに合わせて当日受付簿や座席表示板なども変更する) 業務時間のさらなる削減(平成20年度に、本事業用のパソコンシステムを構築し、各種情報管理や印刷物の作成にかかる時間が大きく削減できた。システムを熟成させ、さらなる業務時間の削減を行う) 事業費のさらなる削減(支出内容を精査し、削減に努める)																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							

No.	110-600	事務事業名	市防衛協会運営事業				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	政策体系外				課長名	宗像成昭	
	施策名					所属G(係)	総務研修グループ	
	基本事業名					電話番号	45-5111	
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	01	10030	自衛官募集費	霧島市防衛協会会則	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
霧島市防衛協会に運営補助として補助金を支出すると同時に、事務局として運営に携わっている。霧島市防衛協会は、自衛隊の諸行事への参加協力(国分駐屯地慰霊祭参加・国分駐屯地周年記念行事参加など)、自衛隊各種活動に対する助成(自衛隊国分駐屯地音楽部への助成など)、自衛官募集に関する協力(自衛官募集看板や掲示板的設置改修)、自衛隊員の激励(郷土出身の自衛隊新入隊者壮行会の開催など)、防衛意識の普及高揚などにより、市民の立場から自衛隊を支援する任意団体、会員は会の趣旨に賛同する個人及び法人。年会費は個人100円、法人一口1,000円。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 40 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様。		ア	自衛隊各種活動に対する助成件数(国分駐屯地音楽部等への助成)
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	自衛官募集に関する協力件数(自衛官募集看板・掲示板的設置改修)
前年度と同様。		ウ	自衛隊員の激励件数(郷土出身自衛隊新入隊者壮行会開催)
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
【補助金交付先】霧島市防衛協会		ア	人口
【補助対象活動】霧島市防衛協会の運営及び活動		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
会員となり、自衛隊に協力する。		名称	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		ア	霧島市防衛協会会員数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円	60	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	60	0	0	0		
活動指標		ア 件	3	2	2	2		
		イ 件	11	0	10	10		
		ウ 件	1	1	1	1		
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 人・社	9,770・21	9,632・17	9,768・12	9,800・12		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア						
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和30年、自衛隊が旧国分に駐屯。当時、大々的な誘致活動が行われた経緯があり、昭和40年、市民の立場から自衛隊を支援する団体として「国分市自衛隊協力会」が設立される。その後「国分市防衛協会」と改称、市町合併後、平成18年に「霧島市防衛協会」と改称。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
合併により市域が広がったが、防衛協会(自衛隊協力会)があったのは国分地区のみである。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市民からは、霧島市防衛協会の実施事業内容についての問合せや、なぜ市が自衛隊を支援するのか、といった意見が寄せられている。	

事務事業名	市防衛協会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	-----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ 霧島市自衛隊父兄会(子弟が自衛隊員である人による、自衛隊を支援する団体) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ これまでも、霧島市自衛隊父兄会と共催で霧島市出身の自衛隊新入隊者の壮行会を実施するなど、連携を図っている。今後とも連携を図っていく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

[担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	事務局を市が担っているため、将来的には事務局を会員に担ってもらい、自主運営ができる体制を整えていく必要がある。また、現在、会員は旧国分市民が中心なので、市内全域に会員を広げていく必要がある。さらに、本事業は自衛隊の各種活動への支援が主になっており、会員になることによるメリットが減少している。会員になることによるメリットを増やす取り組みが必要である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 事務局を市から会員に移す。 まずは他自治体の防衛協会・自衛隊協会の状況を調査し、今後の方向性について検討する。 市内全域に会員を広げていく。 各地区の自治公民館長などに、防衛協会についての説明を行い、会員確保の協力を要請する。 会員になることによるメリットを増やす取り組みの実施。 具体的な内容について検討し、実施していく。																	

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
事務局の受け皿となりうる団体があるのか、ない場合はどうしていくのか、協議が必要。 全市的に会員募集をする場合、業務量的に現在の自治会を通じた勧誘が成り立つのか、自治会未加入者はどうするのか、そもそも自治会を通じた勧誘を引続き行っていくのかなど、検討が必要。



No.	110-610	事務事業名	市民と自衛隊のつどい実行委員会運営事業				所 属 部	総務部							
政策体系	政策名	政策体系外				所 属 課	総務課								
	施策名					課 長 名	宗像成昭								
	基本事業名					所 属 G (係)	総務研修グループ								
予算科目		会計一般	0	2	0	1	0	1	事業	10030	事業名	自衛官募集費	法令根拠	市民と自衛隊のつどい実行委員会会則、市民と自衛隊のつどい実施要綱	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)															

市民と自衛隊の交流を広げ、親睦を図るため、「市民と自衛隊のつどい」を開催する。開催にあたり、市民と自衛隊のつどい実行委員会を開き、その年の方針やテーマを委員に協議してもらう。実行委員会の委員は、自衛隊関係者・市関係者など8名で、霧島市総務課が事務局。実行委員会には、市民と自衛隊のつどいに必要な経費を霧島市から補助している。 【市民と自衛隊のつどいの内容】 市民と自衛隊の出演団体による各種上演(演奏・寸劇・舞踊・伝統芸能など)。 例年10月に霧島市民会館で開催。同じ内容で昼と夜の計2回行う。入場は無料。事前に入場整理券を市役所各庁舎で配布。なお、前日に公開リハーサルを行う。こちらは入場整理券不要。											
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( S 37 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )											

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様 平成20年10月11日(土)に開催した。 新たな取組みとして、市民と自衛隊の合同演目を上演した(3演目)。		名称 単位 ア 観覧者数 人 イ 演目数 演目 ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 事務事業の概要と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 市民 人 イ 陸上自衛隊国分駐屯地隊員 人 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民と自衛隊員 <補助金交付先>市民と自衛隊のつどい実行委員会 <補助対象活動>市民と自衛隊のつどいに関する活動		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 市民と自衛隊の親睦が図れたと思う観覧者の割合 % イ ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) お互いの交流が広がり、親睦が図れる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア イ ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	450	431	428	450		
		事業費計(A)	千円	450	431	428	450		
活動指標		ア 人		2,360	2,561	2,600			
		イ 演目	16	15	15	15			
		ウ							
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383			
		イ 人	1,160	1,160	1,160	1,160			
		ウ							
成果指標		ア %		89.2	87.7	90.0			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア							
		イ #REF!							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和30年に陸上自衛隊が国分に駐屯。市民と自衛隊の親睦を図るため、昭和37年より「市民と自衛隊のつどい」を開催している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? もともと国分地区で行っていた事業だが、合併により市域が広がったことにより、市内の旧国分市以外の団体にも出演いただいている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 日程の都合上、市民側の参加団体を例年6団体程度としているが、出演要望が多い。	

事務事業名	市民と自衛隊のつどい実行委員会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民と自衛隊員相互の親睦を、さらにすすめる必要がある。 また、引続き事業費の削減を行っていく必要がある。 現在は観覧料を無料としているが、観覧料の負担を求めると、今後検討の余地がある。																
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	コスト <table border="1"> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	削減	維持	増加														
向上																	
維持																	
低下																	
<改革改善案> 市民と自衛隊の合同演目も含めた、演目の効果的な選定により、成果の向上を図る。 引続き、支出内容を精査し、事業費の削減を行っていく。 観覧料の負担を求めると、検討する。																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 観覧料の負担を求めると、それに見合うよう、演目の質をさらに向上させる必要がある。そのためには、出演団体に努力をお願いする、すでに定評のある団体に出演願う、といった対策をとる必要がある。																	

No.	110-620	事務事業名	自衛官募集事務				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	政策体系外				課長名	宗像成昭	
	施策名					所属G(係)	総務研修グループ	
	基本事業名					電話番号	45-5111	
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	01	10030	自衛官募集費	自衛隊法第97条、第120条	

<p><b>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b></p> <p>自衛官の募集に関する事務。国からの委託を受けて実施している。                  具体的には、自衛官募集の広報、適齢者情報(15歳・18歳・22歳を迎える市民の「氏名・年齢・性別・住所」)の提供、自衛隊が行う自衛官募集業務への協力を行っている。</p>	<p><b>事業期間</b></p> <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 25 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )
---	---

**1 現状把握の部(DO)**

<p><b>(1) 事務事業の目的と指標</b></p> <p>手段(主な活動)</p> <p>20年度実績(20年度に行った主な活動)                  自衛官募集情報の市報への掲載、適齢者情報の提供、自衛隊が実施する自衛官募集家族説明会への協力、試験会場の確保</p> <p>21年度計画(21年度に計画している主な活動)                  前年度と同様</p> <p>対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等                  自衛官の採用試験を受けることができる市民</p> <p>意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)                  自衛官の採用試験を受けてもらう</p> <p>結果(どんな結果に結び付けるのか)</p>		<p><b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 自衛官募集情報の市報への掲載回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 適齢者情報の提供</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ 自衛官募集家族説明会の開催回数</td> <td>回</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 霧島市の18歳以上27歳未満人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 上記 のうち自衛官採用試験を受験した人数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア</td> <td></td> </tr> <tr> <td>イ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 自衛官募集情報の市報への掲載回数	回	イ 適齢者情報の提供	回	ウ 自衛官募集家族説明会の開催回数	回	名称	単位	ア 霧島市の18歳以上27歳未満人口	人	イ		ウ		名称	単位	ア 上記 のうち自衛官採用試験を受験した人数	人	イ		ウ		名称	単位	ア		イ		ウ	
名称	単位																																	
ア 自衛官募集情報の市報への掲載回数	回																																	
イ 適齢者情報の提供	回																																	
ウ 自衛官募集家族説明会の開催回数	回																																	
名称	単位																																	
ア 霧島市の18歳以上27歳未満人口	人																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 上記 のうち自衛官採用試験を受験した人数	人																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア																																		
イ																																		
ウ																																		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円	143	136	135	135	
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円					
	事業費計(A)	千円	143	136	135	135		
活動指標	ア	回	5	3	3	3		
	イ	回	1	1	1	1		
	ウ	回	0	7	7	7		
対象指標	ア	人	14,034	13,959	13,558	13,257		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人	122	189	180	185		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア							
	イ							
	ウ							

<p><b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b></p> <p>この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?                  昭和25年、自衛隊の前身である警察予備隊の隊員募集事務を市町村が行った。その後、自衛官募集事務が国から委託を受けて行う事務となった。</p> <p>事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?                  自衛官の新規採用枠が少なくなっている。この理由として、景気の低迷により任期制自衛官(任期が2年の隊員)が契約を更新し、自衛官を続けるケースが増えていることが挙げられる。自衛隊は隊員の定数が決められており、退官する人が少なければそれだけ採用できる数が減少するため。</p> <p>この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?                  特になし。</p>	
---	--

事務事業名	自衛官募集事務	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	---------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 政策体系外の事務である。			
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 自衛隊法で、市が事務を行うように定められているため。			
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 市民に自衛官の採用試験を受けてもらうための事務なので、対象・意図ともに妥当である。			
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 自衛官の新規採用枠や社会情勢に左右されるが、今後とも本事務を行っていくことにより、成果の向上につながるものと思われる。			
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 本事務の主な業務である自衛官募集広報を行わなくなることにより、市民が自衛官募集についての情報を得る機会が少なくなる。			
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 自衛隊が行っている自衛官募集業務 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 自衛隊が主催する自衛官募集家族説明会への協力や試験会場の確保など、すでに行っている。今後とも、自衛隊と連携し、事務を行っていく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷			
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費のほとんどは自衛官募集広報用の消耗品代である。今後とも、コスト意識を持ち、必要なだけの支出を行っていく。			
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 業務時間のほとんどが、自衛官募集広報用の原稿作成や、自衛官募集に関する自衛隊との調整だが、業務時間としてはわずかなものであり、これ以上の削減余地はない。			
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 自衛官の採用試験を受験できる市民全てを対象として事務を行っているため、受益機会は公平。また、自衛官の採用試験を受けてもらうための広報や自衛隊との調整が主な事務なので、あえて受益者負担を求めるものではない。			

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	自衛官の新規採用枠や社会情勢に左右されるが、今後とも本事務を行っていくことにより、自衛官採用試験の受験者を確保していく。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
<改革改善案> 他自治体の取組みも参考にして、自衛官募集用広報をさらに工夫していく。																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									

No.	110-630	事務事業名	自衛隊父兄会運営事業				所属部	総務部
							所属課	総務課
政策体系	政策名	政策体系外				課長名	宗像成昭	
	施策名					所属G(係)	総務研修グループ	
	基本事業名					電話番号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島市自衛隊父兄会会則
	一般	0	2	0	1	10030		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島市自衛隊父兄会に運営補助として補助金を支出すると同時に、事務局として会の運営に携わっている。霧島市自衛隊父兄会は、合併前から旧市町にあった各地区自衛隊父兄会の連合体組織(任意団体)。会員は各地区自衛隊父兄会会員。会費は年150円。各地区自衛隊父兄会相互の連絡調整や、郷土出身の自衛隊新入隊員壮行会の開催などを行う。各地区自衛隊父兄会は、郷土出身自衛隊員の保護者等からなる組織で、自衛隊の諸行事や自衛官募集に関する協力、郷土出身自衛隊員の激励などを各地区毎に行っている。会費は年2,000円~3,000円。事務局は、国分・横川・牧園・隼人は地区自衛隊父兄会が、溝辺・福山・霧島は市(地域振興課)が、それぞれ担っている。なお、隼人については、平成20年度に事務局を市から地区自衛隊父兄会に移している。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 40 年代 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 会議の開催(役員総会等)	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 自衛隊新入隊員壮行会の開催	回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	霧島市自衛隊父兄会会員 [補助金交付先]霧島市自衛隊父兄会 [補助対象活動]自衛隊父兄会の運営及び活動	ウ 地区自衛隊父兄会の活動回数	回
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	自衛隊父兄会の活動に積極的に参加するようになる。 自ら会務を運営するようになる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		名称	単位
		ア 霧島市自衛隊父兄会会員	人
		イ 父兄会(市父兄会・地区父兄会)	団体・団体
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 活動している霧島市自衛隊父兄会会員の割合	%
		イ 事務局を会員が担っている父兄会	団体・団体
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	191	172	172	191		
	事業費計(A)	千円	191	172	172	191			
活動指標	ア	回	2	1	2	1			
	イ	回	1	1	1	1			
	ウ	回							
対象指標	ア	人	510	507	480	480			
	イ	団体・団体	1.7	1.7	1.7	1.7			
	ウ								
成果指標	ア	%	未把握	未把握	未把握	50.0			
	イ	団体・団体	0.3	0.3	0.4	0.4			
	ウ								
上位成果指標	ア								
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
各地区自衛隊父兄会は、昭和40年代、自衛隊の諸行事や自衛官募集に関する協力及び郷土出身隊員の激励などを行う組織として郷土出身隊員の保護者により組織された。発足当初から、市が事務局を担ってきたものと思われる。霧島市自衛隊父兄会は、市町合併に伴い、平成18年度に各地区自衛隊父兄会の連合体組織として発足し、事務局を市が担っている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
会員の高齢化が進んでおり、会員数も減少してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
各地区父兄会役員からは、運営予算が厳しいとの意見が出ている。	

事務事業名	自衛隊父兄会運営事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	政策体系外の事業である。
	公共関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	合併前の旧市町時代から長年にわたり行政が事務局を担当しているが、会員自身に事務局を担ってもらおうのがあるべき姿だと思われる。現在、市父兄会と、3地区(溝辺・霧島・福山)父兄会の事務局を市が担っているが、段階を追って会員に事務局を移していく。補助金の支出については、自衛官募集事務を法律に基づき国から委託を受けた事務として、市が取り組んでおり、父兄会も自衛官募集に協力していることから、妥当であると考え。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	霧島市の自衛隊父兄会会員を対象に、自衛隊父兄会の活動に積極的に参加してもらおうとともに、自ら会務を運営できるようになることを意図しているため、対象・意図とも適切であると考え。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	実際に活動に参加している会員数については、実数を把握していないので、まずは各地区の会長等に確認し、把握に努める。 また、市が事務局を担っている3地区自衛隊父兄会及び市自衛隊父兄会については、事務局を移すための取組みを進めていく。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	自衛隊父兄会の運営が滞る。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 霧島市防衛協会(市民が自衛隊を支援するための組織) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	これまでも、霧島市防衛協会と共催で霧島市出身の自衛隊新入隊者の壮行会を実施するなど、連携を図っている。今後とも連携を図っていく。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費はすべて自衛隊父兄会への運営補助金である。自衛隊父兄会の運営上、必要最小限の金額であり、削減余地はない。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	業務としては、補助金の支出に関する業務、市父兄会事務局としての業務(総会や自衛隊新入隊者壮行会などの段取りや連絡業務などの庶務)、地区父兄会事務局としての業務(地区父兄会の理事会・総会などの段取りや、会計・連絡業務などの庶務)などがある。事務局を父兄会会員自身に担ってもらうことにより、市父兄会事務局及び地区父兄会事務局に関する業務時間を削減できる。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
公平性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	市自衛隊父兄会及び市内すべての地区自衛隊父兄会を対象としているので、受益機会は公平。また、会員すべてから年会費を徴収し、運営経費に充てているので、受益者負担も公平・公正。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	会員自身に事務局を担ってもらおうのがあるべき姿である。現在、市父兄会と、3地区(溝辺・霧島・福山)父兄会の事務局を市が担っているが、段階を追って会員に事務局を移していく必要がある。 また、各地区の会長等に会員の活動状況を確認する必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
<改革改善案> 事務局を会員に移す。3地区(溝辺・霧島・福山)父兄会の事務局を移し、その後、市父兄会の事務局を移す。計画としては、以下のとおり。 平成21年度(理事会・総会などで説明と事務局を移す準備) 平成22年度(市職員と地区父兄会会員と一緒に事務局を担当し、1年かけて事務局を移していく) 平成23年度(4月1日から地区父兄会事務局を移す。また、市父兄会役員総会で市父兄会事務局を移すことを説明し、事務局を移す準備) 平成24年度(4月1日から市父兄会事務局を移す) 各地区の会長等に会員の活動状況を確認した上で、各会員には会の活動に積極的に取り組んでもらうよう要請してもらう。																											

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 会員の高齢化が進んでいるので、急に事務局を移してしまうと、会務への影響が大きと思われる。改革改善案に挙げたとおり、1年かけて徐々に事務局を移していけば、混乱を避けられると思われる。